

平成28～32年度 鳥取市生涯学習推進基本方針関連事業計画及び実績

《目次》

概要

鳥取市組織図

平成29年度 計画及び実績

平成30年度 計画

平成28年度～平成32年度 鳥取市生涯学習推進基本方針関連事業
平成30年度計画及び平成29年度実績 概要

本調査は、鳥取市生涯学習推進基本方針に基づき、庁内各部署で行われている生涯学習関連事業を整理し、その進捗を管理するために行っているものです。調査内容は次のとおりです。

- 事業名
- 事業の目的
- 事業計画(年度ごと)
- 事業実績(年度ごと)
- 事業達成度自己評価(年度ごと)

事業達成度は、事業の進捗状況を分かりやすくするために、次の指標をもとにしてAA～Eの記号を事業担当課が評価しつけたものです。

記号	指 標	達成率
AA	計画をはるかに上回る実績が得られた。	120%～
A	計画を十分に達成した。	90～120%
B	計画をおおむね達成した。	70～90%
C	計画をあまり達成できなかった。	50～70%
D	計画をほとんど達成できなかった。	30～50%
E	ほぼ計画を実施できなかった。事業中止等。	0～30%
-	事業廃止、隔年開催等で評価できず。	

調査では、各事業を基本施策における7分野に分類・集計しています。分野別の集計は右記のとおりです。各年度約180の事業が実施されています。

○ 生涯学習推進基本方針の全体評価

平成29年度の総事業175事業のうち、達成度評価がA以上の割合は約7割、B以上では9割を超えており、ほとんどの事業が概ね計画通りかそれ以上の実施状況となっています。

「4 学習した成果を活かす仕組みづくりと人材育成」「6 伝統文化・芸能・芸術の学びを通じた継承及び活用と振興」分類においてはBの割合が一番多い状況であり、A、AA評価に向けた工夫が必要と考えています。

事業廃止の理由については社会的ニーズに合わない、他に似たような事業がある等があげられており、生涯学習のさらなる推進のための見直しが主な理由と考えられます。

H29はH28に比べ達成度評価がA以上になった割合が多くなっており、B～Eの割合は少なくなっています。ただし、事業廃止の割合が増加しています。

【集計】

1 市民が生涯にわたって学べる学習機会の充実

	事業数	AA	A	B	C	D	E	-	計
H28	55	0	33	16	1	2	1	0	53
		0%	62%	30%	2%	4%	2%	0%	100%
H29	55	2	43	6	0	1	1	0	53
		4%	81%	11%	0%	2%	2%	0%	100%

2 社会的課題に関する学習機会の充実

	事業数	AA	A	B	C	D	E	-	計
H28	29	0	18	8	1	0	0	0	27
		0%	67%	30%	4%	0%	0%	0%	100%
H29	30	5	16	6	0	0	0	1	28
		18%	57%	21%	0%	0%	0%	4%	100%

3 すべての市民が学べる多様な学習形態や情報提供の充実

	事業数	AA	A	B	C	D	E	-	計
H28	4	0	4	0	0	0	0	0	4
		0%	100%	0%	0%	0%	0%	0%	100%
H29	4	0	4	0	0	0	0	0	4
		0%	100%	0%	0%	0%	0%	0%	100%

4 学習した成果を活かす仕組みづくりと人材育成

	事業数	AA	A	B	C	D	E	-	計
H28	21	0	12	8	0	1	0	0	21
		0%	57%	38%	0%	5%	0%	0%	100%
H29	21	1	8	11	0	0	0	1	21
		5%	38%	52%	0%	0%	0%	5%	100%

5 地域社会の課題解決力・教育力向上と家庭教育の強化

	事業数	AA	A	B	C	D	E	-	計
H28	20	1	15	2	1	1	0	0	20
		5%	75%	10%	5%	5%	0%	0%	100%
H29	20	2	15	1	0	0	0	2	20
		10%	75%	5%	0%	0%	0%	10%	100%

6 伝統文化・芸能・芸術の学びを通じた継承及び活用と振興

	事業数	AA	A	B	C	D	E	-	計
H28	25	1	9	14	1	0	0	0	25
		4%	36%	56%	4%	0%	0%	0%	100%
H29	26	2	6	16	1	1	0	0	26
		8%	23%	62%	4%	4%	0%	0%	100%

7 生涯学習活動拠点の充実

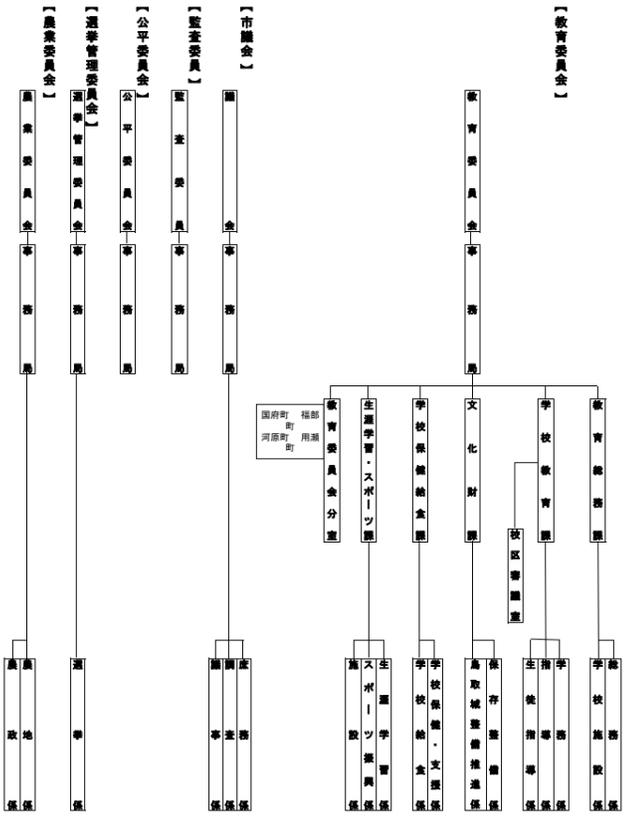
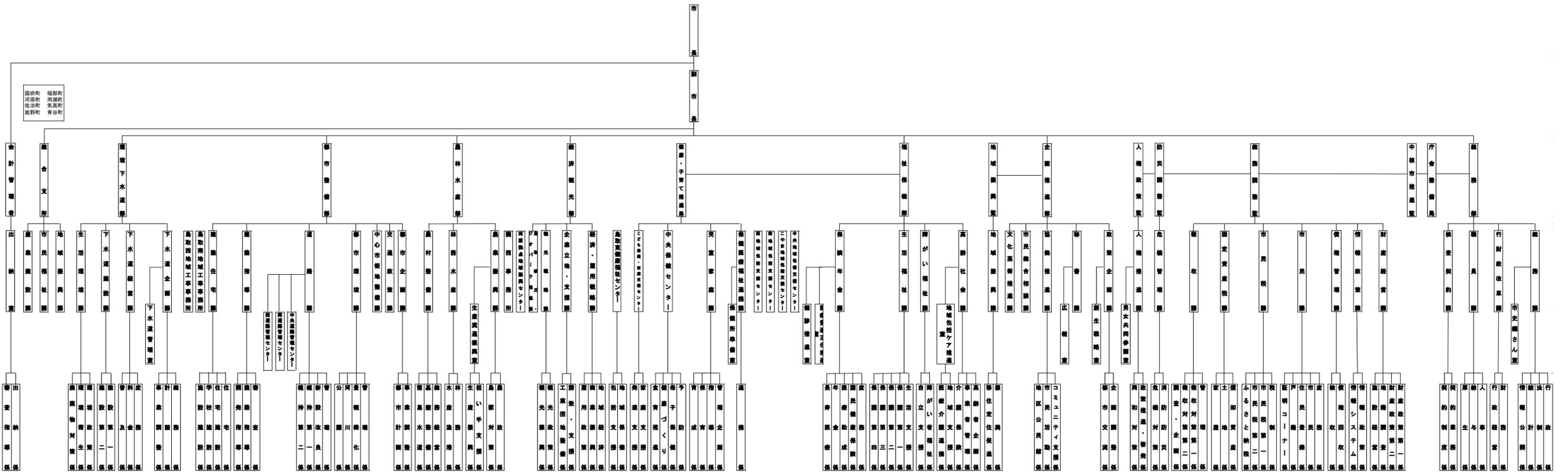
	事業数	AA	A	B	C	D	E	-	計
H28	23	0	15	7	1	0	0	0	23
		0%	65%	30%	4%	0%	0%	0%	100%
H29	23	0	15	6	1	0	0	1	23
		0%	65%	26%	4%	0%	0%	4%	100%

【総計】

	事業数	AA	A	B	C	D	E	-	計
H28	173	2	106	55	5	4	1	0	173
		1%	61%	32%	3%	2%	1%	0%	100%
H29	175	12	107	46	2	2	1	5	175
		7%	61%	26%	1%	1%	1%	3%	100%

担当部署別事業数	重復修正	
部	課・室	事業数
総務部	総務課	1
危機管理局	危機管理課	1
人権政策局	人権推進課	4
	男女共同参画課	8
企画推進部	秘書課広報室	1
	文化交流課	12
	国際交流プラザ	1
地域振興局	地域振興課	2
	協働推進課	9
	市民総合相談課	1
福祉部	地域福祉課	2
	長寿社会課	9
	障がい福祉課	2
健康子ども部	こども家庭課	1
	中央保健センター	4
経済観光部	経済・雇用戦略課	2
	観光戦略課	7
	鳥取砂丘・ジオパーク推進課	2
農林水産部	農業振興課	3
環境局	生活環境課	1
教育委員会	学校教育課	6
	生涯学習・スポーツ課	36
	さじアストロパーク	7
	文化財課	7
	市立中央図書館	3
国府	国府町地域振興課	3
福部	教育委員会福部分室	7
河原	河原町地域振興課	0
	教育委員会河原町分室	2
用瀬	教育委員会用瀬町分室	3
	用瀬町産業建設課	1
佐治	教育委員会佐治町分室	3
気高	気高町地域振興課	3
	教育委員会気高町分室	1
鹿野	鹿野町地域振興課	1
	教育委員会鹿野町分室	5
青谷	青谷町地域振興課	2
	教育委員会青谷町分室	11
水道局	水道局	1
	合計	175

鳥取市組織図 (平成27年4月1日現在)



別添 平成28～32年度「鳥取市第2次生涯学習推進基本方針」関連事業一覧表

1 市民が生涯にわたって学べる学習機会の充実

(1) 人格形成の基礎を培う幼児教育の実践

担当課	事業名	事業目的	平成29年度事業計画	平成29年度事業実績	達成度	達成度の判定理由	今後の見直し方針	平成30年度事業計画
教育委員会鹿野町分室	基幹公民館事業（図書イベント）	幼児・児童の豊かな情操を育てるため、本の読み聞かせ・おはなし会を実施。	図書イベント24回	図書イベント 21回開催 ・絵本の読み聞かせ（こじか圃） 10回 ・おはなし会（鹿野小学校図書室）11回 延べ829人	A	図書事業の開催回数は計画を下回ったものの、参加人数は昨年を大きく上回り、図書事業の目的である子どもの読書の機会を提供することができた。	図書室の利用促進につながる事業を展開する。	幼児・児童の豊かな情操を育てるとともに、子どもの読書活動推進のための、年間を通して図書事業を実施する。 ・絵本の読み聞かせ＝10回程度開催 ・おはなし会＝12回程度開催
教育委員会鹿野町分室	地区公民館事業（ジュニア川柳事業）	川柳を通じて青少年の豊かな心を醸成するとともに地域づくりを推進するため。	小中学生ジュニア川柳コンクール1回	第15回鹿野町ジュニア川柳大賞を実施。全国から1,335人、5,975句の応募があり、その中から大賞をはじめ4作品を表彰した。大賞句は句木にして「鹿野町川柳街道」に設置した。	A	小・中学生を対象としたジュニア川柳大賞を実施し、全国から昨年を上回る応募があり、当初の計画を達成することができた。	広報の強化による参加校、応募数の拡大を目指す。	小・中学生を対象としたジュニア川柳コンクールを開催し、青少年の豊かな心を醸成するとともに地域の文化芸術活動の活性化を図る。
教育委員会青谷町分室	お話し会・本の読み聞かせ	図書館利用の促進	保育園児を対象にお話し会や本の読み聞かせ3回	保育園児を対象にお話し会や本の読み聞かせ。開催日：平成29年10月4日（水）5日（木）10日（火）。延べ82名参加。	A	計画通り実施した	特になし	保育園児を対象にお話し会や本の読み聞かせ3回

(2) 青少年及び成人の社会的知識向上を図る学習、高齢者の生きがいを旨とした学習の推進

担当課	事業名	事業目的	平成29年度事業計画	平成29年度事業実績	達成度	達成度の判定理由	今後の見直し方針	平成30年度事業計画
市立中央図書館	地域社会教育活動総合事業	子どもから大人まで市民の読書活動の推進を図ることを目的に、絵本の読み聞かせや各種講演会、研究会等を行う。また、読書を通じた市民の自己実現の機会を支援するため、絵本の読み聞かせ研修講座等、ボランティアの養成講座を実施するとともに、大学機関等と連携した一般向けの教養講座を開催し、生涯学習に資するとともに図書館の利用促進を図る。	子どもの読書活動推進のための読書ボランティア養成講座や、親子を対象にしたイベントを行う。講座開催中の託児を実施し、子育て世代も参加しやすい環境を整備する。また、高齢者を中心とした図書館利用も増えているため、引き続き、音読教室など高齢者を対象とした講座に取り組む。図書館利用をとおして、心豊かな生活の実現や地域文化の発展、課題解決などを図る。 おはなし会、読書ボランティア養成講座、親子でいっしょに楽しむ講座、文字活字文化の日記念講演会、ブックスタート支援事業、音読教室、広報誌の発行など特別展示による本の紹介や、SNSを活用した情報発信を行い、図書館利用の促進を図る。 指標：図書館のおはなし会、各種講座への参加者数 5,007人	図書館3館において、子どもの読書活動推進に係るおはなし会やイベント、ブックスタート支援事業、音読教室、文字・活字文化の講演会などを開催した。 中央図書館では、絵本の読み聞かせボランティア養成講座を実施し、52人が受講した。そのうち45.7%の人が実務につなげている。 中央図書館では27年度から行っているBOOK袋（本の福袋）と一日図書館員のイベントを、用瀬図書館・気高図書館でも行い、読書活動の推進及び図書館利用の促進を図った。 指標：図書館のおはなし会、各種講座への参加者数 6,097人 達成率 121.8%	AA	予定していた事業は計画通りに実施することができたとともに、目標を大きく達成できた。 子どもの読書活動を一層推進するためには、本が身近にある環境を手助けする人が重要。読み聞かせボランティア養成は受講しやすく、実践につながるような工夫をする。	子どもの読書活動推進のための読書ボランティア養成講座や、親子を対象にしたイベントを行う。講座開催時の託児強化を図る。 また、高齢者を中心とした図書館利用も増えているため、引き続き、音読教室など高齢者を対象とした講座に取り組む。図書館利用をとおして、心豊かな生活の実現や地域文化の発展、課題解決などを図る。 おはなし会、読書ボランティア養成講座、親子でいっしょに楽しむ講座、文字活字文化の日記念講演会、ブックスタート支援事業、音読教室、広報誌の発行など 指標：図書館のおはなし会、各種講座への参加者数 5,057人	子どもの読書活動推進のための読書ボランティア養成講座や、親子を対象にしたイベントを行う。講座開催時の託児強化を図る。 また、高齢者を中心とした図書館利用も増えているため、引き続き、音読教室など高齢者を対象とした講座に取り組む。図書館利用をとおして、心豊かな生活の実現や地域文化の発展、課題解決などを図る。 おはなし会、読書ボランティア養成講座、親子でいっしょに楽しむ講座、文字活字文化の日記念講演会、ブックスタート支援事業、音読教室、広報誌の発行など 指標：図書館のおはなし会、各種講座への参加者数 5,057人
市立中央図書館	図書購入事業	市民の多様化する資料や情報に対する要求に応え、新鮮で魅力ある蔵書を維持するため、鳥取市立図書館資料収集方針に基づき、3館6室で一体的・効率的な資料整備を図る。	全館で年間 19,000冊（購入予定）を整備する計画。年度末では約677千冊の蔵書となる予定。 指標：新規購入図書年間貸出回数 9.7冊	図書の購入：19,267冊 蔵書冊数：665,643冊 図書館情報管理システムと搬送システムの運用で、市立図書館のサービス拠点で読みたい本が借りられる仕組みを構築している。 指標：新規購入図書年間貸出回数 10.2冊	A	利用者のニーズや社会情勢をとらえながら選書を行い、必要な資料の整備を行った。	1.社会情勢をとらえながら、多様な考え方や新しい情報の資料を整備する。 2.県立図書館や他の自治体の図書と連携を行い、サービスを充実するとともに、資料のデジタル化や電子書籍の研究、検討を行う。	全館で年間 19,000冊（購入予定）を整備する計画。年度末では約697千冊の蔵書となる予定。 指標：新規購入図書年間貸出回数 9.8冊
教育委員会鹿野町分室	基幹公民館事業（歴史講座）	一般を対象として、地域の身近な歴史などを知るため実施する。	郷土史・国際交流・健康講座3回	実施回数：国際交流1回 開催日程：平成30年2月8日 開催場所：鹿野町農業者トレーニングセンター 生活改善室 開催内容：国際交流「ドイツの食と文化を学ぶ」 参加人数：10人	D	一般を対象とし、鳥取市国際交流員を招き、料理作りをとおして、他国の文化を学ぶことができたが、講座開催が1回のみとなったため	地区公民館が行っている講座と目的、内容ともに重複するため今後は開催を中止する。	実施予定なし
教育委員会福部町分室	基幹公民館事業費（チャレンジスクール事業）	青少年の健全育成	ナイトウォーク、クリーン大作戦2回、世代間交流、抹茶でおもてなし、ABC教室の開催などの事業を行う。	ナイトウォーク、クリーン大作戦2回、世代間交流、ABC教室の開催などの事業を行う。	A	計画していた講座を予定通り実施出来たため	引き続き、青少年の健全育成を推進し、講座を開催する	福部地域こども教室（チャレンジスクール）に統合する
教育委員会福部町分室	福部地域こども教室（チャレンジスクール）	学校週5日制が実施され、子どもたちの週末活動の支援事業として、農業体験や野外活動、創作活動、ボランティア活動などを実施する。	開催場所：福部町コミュニティセンター他 講座内容：ナイトウォーク、クリーン大作戦2回、ふれあい交流事業、ABC教室、お菓子作り	開催場所：福部町コミュニティセンター他 講座内容：ナイトウォーク、クリーン大作戦2回、ふれあい交流事業、ABC教室、お菓子作り	A	計画していた講座を予定通り実施出来たため	引き続き、子どもたちの週末活動の支援事業として講座を開催する	開催場所：福部町コミュニティセンター他 講座内容：クリーン大作戦2回、ABC教室
生涯学習・スポーツ課	市ジュニアリーダー養成講座（ジュニアリーダー養成講座及びヤングリーダー育成事業）	青少年を健全でたくましく育てる連帯した地域・基盤を確立し、青少年が自ら積極的に学習や活動に参加し、地域活動・ふれあい活動への参加・参画を促進し、健全育成を図る。	委託先：鳥取市子ども会連合会 小学5年生～中学2年生を対象として、子ども会活動・地域行事に参画できるジュニアリーダーを養成し、ジュニアリーダー養成講座終了者が引き続き活動・研修を行いヤングジュニアリーダー参加予定人数 10人 ヤングリーダー参加予定人数 6人	定例会（行事等内容の検討・企画）実施 11回 年間を通じた定例会やイベントの実施により、子どもたちが自ら考え、実行するための研修を継続的に実施することができた。 一方で、一回あたりの参加者は3～4名という場合が多く、参加者の増や参加しやすい研修企画が必要。	B	計画していた事業については概ね実施した。 年間を通じた定例会やイベントの実施により、子どもたちが自ら考え、実行するための研修を継続的に実施することができた。 一方で、一回あたりの参加者は3～4名という場合が多く、参加者の増や参加しやすい研修企画が必要。	参加者の増加につながる改善策を委託先とともに検討する。	委託先：鳥取市子ども会連合会 市内の小・中学生を対象として、子ども会活動・地域行事に参画できるジュニアリーダーを養成し、ジュニアリーダー養成講座終了者が引き続き活動・研修を行いヤングジュニアリーダーへの成長を図る。 ○定例会や体験活動、研修会への参加を通じて大人と連携した地域行事等への参画・運営に関わる力やリーダーとしての資質の向上を図る。
生涯学習・スポーツ課	成人式	新成人の門出を祝うとともに、新成人に大人としての自覚と責任を促す。	期日：平成30年1月3日 会場：とりぎん文化会館 梨花ホール 内容：式典、アトラクション 市報等による公募による者と各地区公民館、合併地域からの推薦のあった者で実行委員会を設置し、成人式を企画運営する。	期日：平成30年1月3日 会場：とりぎん文化会館梨花ホール 参加者数：約1,700人 内容：OPイベント 鳥取東高書道パフォーマンス 式典、イベント お笑いステージ 実行委員9名が企画運営を行った。	A	新成人で構成する実行委員会による成人式の企画・運営を行うことで、トラブルなくスムーズな式運営ができた。対象者の8割を超えて多くの参加者があり、成人式の開催目的である「新成人の二十歳の門出を祝うとともに、新成人に大人としての自覚と責任を促す」ことができたと考えられるため。	実行委員募集の広報を強化し、委員の確保に努める	期日：平成31年1月3日 会場：とりぎん文化会館 内容：式典、アトラクション 市報等による公募による者と各地区公民館、合併地域からの推薦のあった者で実行委員会を設置し、成人式を企画運営する。
生涯学習・スポーツ課	青年団体育成事業（地区青年団体補助）	青年活動団体に対し、補助金を交付することで、青年活動の振興と地域の活性化を推進する。	地区の青年団に運営費を助成する。 予算50,000円	青年団育成費補助：2団体（佐治町青年団、富榮地区青年団） 補助金額 100,000円	A	青年活動団体に対し、補助金を交付することにより、青年活動の振興と地域の活性化を推進できたと考えられるため。	青年活動の進行と地域の活性化のため、今後も青年活動団体に補助金を交付し、活動を支援していく。	地区の青年団に運営費を助成する。 予算50,000円
高齢社会課 長寿社会課 ※平成30年～	趣味の教室	高齢者の仲間づくり、健康づくり、生きがいを育むため、囲碁、将棋、書道など多くの趣味の教室を鳥取市高齢者福祉センター等に設け、年度を通して定期的に活動する。	開催場所：高齢者福祉センター 内容：囲碁、将棋、書道、民謡、手工芸、生け花、謡曲、おどり、日本画、短歌、俳句、表装、詩吟、陶芸	開催場所：高齢者福祉センターほか 内容：囲碁、将棋、書道、民謡、手工芸、生け花、謡曲、おどり、日本画、短歌、俳句、表装、詩吟、陶芸、木工 参加者数：526人	A	前年度と比較すると参加者数は減ったものの、活動は継続的であり、高齢者の仲間づくり、健康づくり、生きがいを育むの推進に大きな役割を果たしていると考えられるため。	参加者数の減少が続かないよう、市報による広報を継続する。	開催場所：高齢者福祉センター 内容：囲碁、将棋、書道、民謡、手工芸、生け花、謡曲、おどり、日本画、短歌、俳句、表装、詩吟、陶芸、木工
高齢社会課 長寿社会課 ※平成30年～	高齢者が広く地域社会と交流を図り、生きがいを高めるため、高齢者の団体に対して高齢者介護予防支援バス運行する。	対象者：10人以上の60歳以上高齢者の団体 運行時間：午前9時から午後4時（土日、祝日、年末年始除く） 運行範囲：鳥取県内 市社会福祉協議会へ事業委託	利用回数：576回 利用人数：10,126人	前年度と比較すると利用回数、人数ともに減少しているが、ほぼ毎日の利用があり、高齢者の地域社会との交流が図られ、生きがいを高めていると考えられるため。	A	公共交通機関利用促進事業への転換などの検討が必要である。	対象者：10人以上の60歳以上高齢者の団体 運行時間：午前9時から午後4時（土日、祝日、年末年始除く） 運行範囲：鳥取県内 市社会福祉協議会へ事業委託	
高齢社会課 長寿社会課 ※平成30年～	囲碁・将棋を通じて高齢者相互の交流を図り生きがいを高める。	開催場所：高齢者福祉センター 内容：囲碁・将棋大会を通じた高齢者交流	開催場所：高齢者福祉センターほか 内容：囲碁・将棋大会を通じた高齢者交流 参加者数：113人	A	安定した開催数、参加者数で実施しており、高齢者相互の交流を図り生きがいを高めていると考えられるため。	引き続き活動を実施し、安定した開催数・参加者数の維持に努める。	開催場所：高齢者福祉センター 内容：囲碁・将棋大会を通じた高齢者交流	
協働推進課	交通安全対策費（高齢者対象地域交通安全活動支援事業）	高齢者を対象とした地域交通安全活動を実施する団体を支援し、地域における交通安全運動より活性化することで、交通安全意識の向上と交通事故発生数の減少を目的とする。	随時	高齢者宅訪問：交通安全運動期間中実施、年4回×100軒実施 高齢者講習会：年間40回実施、交通安全啓発物品約1,200個配布	A	計画どおり実施できた。	随時	

生涯学習・スポーツ課	高齢者生きがい促進総合事業（尚徳大学）	高齢者の総合的な学習活動の機会を提供し、生きがいづくりなどをめざした学習を推進する。	社会、書道、絵画、民芸、健康、郷土、彫刻、文芸の8つの専門コースを月2回程度開催。月1回の合同学習の開催。	開催講座数：8コース10講座 講座実施回数：126回 受講者数：509人 延べ参加者数：6,236人 平成29年度より一財）鳥取市教育福祉振興会に生涯学習講座運営等業務委託を行う。（委託契約期間：平成29年4月1日～平成30年3月31日）	A	計画通り実施したので、事業目的は概ね達成できたと考えられるため。	必要に応じて改善等図りながら、さらなる生涯学習の推進を目指していく。	社会、書道、絵画、民芸、健康、郷土、彫刻、文芸の8つの専門コースを月2回程度開催。月1回の合同学習の開催。 平成30年度も引き続き一財）鳥取市教育福祉振興会に生涯学習講座運営等業務委託を行う。（委託契約期間：平成30年4月1日～平成31年3月31日）
教育委員会青谷町分室	健全育成事業	青谷町内での自然体験を通して郷土愛を育み、様々な人とふれあう機会を持たせる。	青谷地域子ども交流会とふるさとあおや探訪バスツアーを同時開催	開催日：平成29年8月22日（火）青谷町内を巡って産業・文化・歴史の探訪。昼食はピザ・スープを作り、滝周辺で水遊びと植物観察を行った。小学生10名、大人6名参加。	A	計画通り実施した	公用バスを利用できなくなるため、バスツアーは実施できない。1日で町内を巡るのではなく、ポイントを絞った事業を実施する。	あおや鳴り砂ビーチフェスタの共催
教育委員会青谷町分室	高齢者教室	高齢者の生きがいと健康づくりを促進する	高齢者の生きがいと健康づくりを促進する教室を開催10回	高齢者の生きがいと健康づくりを促進する教室を開催10回。延べ572人参加。	A	計画通り実施した	特になし	高齢者の生きがいと健康づくりを促進する教室を開催10回
教育委員会青谷町分室	生活に密着した教室	日常生活の潤いと生きがいづくり	料理教室等を開催2回	【親子で魚のさばき方教室】開催日：平成29年7月2日（日）、12名参加。【園芸教室】開催日：平成30年3月13日（火）、26名参加。	A	計画通り実施した	特になし	料理教室等を開催
教育委員会青谷町分室	一般教養講座	健康的で明るい文化的な生活	健康的で明るい文化的な生活に寄与する講座1回	【健康講座 肩こり・腰痛予防体操】開催日：平成29年11月20日（月）、11名参加【コーディネートレーニング】開催日：平成29年11月20日（月）、41名参加。	A	計画通り実施した	特になし	健康的で明るい文化的な生活に寄与する講座を開催
教育委員会青谷町分室	地域再発見講座	青谷地域内の歴史文化や自然について学習し、青谷の魅力を再発見	あおや再発見ツアー1回	開催日：平成29年5月16日（火）、18名参加。	A	計画通り実施した	内容がマンネリ化しているため、新たな事業を検討する	別組織で実施
教育委員会青谷町分室	音読教室	成人を対象として、声を出して本を読む楽しさと大切さを学ぶ	1回15名程度年間9回	1回15名程度年間9回	A	計画通り実施した	特になし	1回15名程度年間9回

(3) 「学び直し」や新たな学びへの挑戦ができる機会の充実

担当課	事業名	事業目的	平成29年度事業計画	平成29年度事業実績	達成度	達成度の判定理由	今後の見直し方針	平成30年度事業計画
男女共同参画課	男女共同参画啓発講座（輝なんせ鳥取による講座）	生涯を通して、男女がいきいきと心豊かに暮らしていくための技術・知識の習得を図る。	開催場所：男女共同参画センター他 講座内容：男女共同参画基礎講座、いきいき女性塾、わくわく男性塾、いきいき生活塾等	開催回数：16講座17回 開催場所：男女共同参画センター等 参加者数：748人（定員661人）	AA	周知等の徹底により目標以上の割合となった。	啓発講座への参加者は女性が多いのが現状であるが、男女共同参画の実現には、男性の理解を深めることが必要不可欠である。今後は、開催方法の工夫や講座の充実を図ることで、男性を含めた多くの人に参加してもらえよう、多面的に検討を行っていく必要がある。	開催場所：男女共同参画センター他 講座内容：男女共同参画基礎講座、いきいき女性塾、わくわく男性塾、いきいき生活塾等
観光戦略課	鳥取市観光大学	鳥取市観光大学を開設して、観光マイスターを養成し、鳥取市のホスピタリティの向上を図る。	鳥取市観光コンベンション協会が実施している観光大学事業を支援する。	第13期受講者25名、合格者（観光マイスター）24名。 事業費925,600円（うち市補助金526,000円）	B	観光大学は計画通り実施されたが、受講生が予定人数を下回ったため。	受講生募集方法の見直し。	鳥取市観光コンベンション協会が実施している観光大学事業を支援する。
生涯学習・スポーツ課	市民大学	社会人を対象とした、専門的な知識や一般的な教養を習得する生涯学習講座を充実させること。	山陰海岸ジオパーク講座5回、国際理解講座 5回、市民健康講座5回、特別講座3回、郷土の歴史講座6回、社会講座6回	山陰海岸ジオパーク講座5回、国際理解講座 5回、市民健康講座5回、鳥取放送文化講座3回、郷土の歴史講座6回、社会講座6回 参加人数：延886人 平成29年度より一財）鳥取市教育福祉振興会に生涯学習講座運営等業務委託を行う。（委託契約期間：平成29年4月1日～平成30年3月31日）	A	計画通り実施したことと、地域の特色や社会動向を考慮した講座内容となっていたことから受講生の満足度も高かったことから、生涯学習講座として充実していたと考えられるため。	来年度も継続できるよう努める。	山陰海岸ジオパーク講座5回、国際理解講座 5回、市民健康講座5回、特別講座3回、郷土の歴史講座6回、社会講座6回 平成30年度も引き続き一財）鳥取市教育福祉振興会に生涯学習講座運営等業務委託を行う。（委託契約期間：平成30年4月1日～平成31年3月31日）

(4) 各年代に対応した健康づくり及びスポーツ・レクリエーション活動の支援

担当課	事業名	事業目的	平成29年度事業計画	平成29年度事業実績	達成度	達成度の判定理由	今後の見直し方針	平成30年度事業計画
生涯学習・スポーツ課	新春健康マラソン大会開催費(旧山の手マラソン)	年頭（例年1月3日）に、健康マラソンを走ることにより、市民の健康維持とリフレッシュを図る。	開催期日：1月3日 開催場所：コカ・コーラウエストスポーツパーク 開催内容：ファミリー(1km)、1.5km小学生、1.5km中学生以上、3km、5km	大会開催 参加人数：762人	A	布勢陸上競技場周辺を会場に、多くの市民が新春の走り初めを実施することができた。	継続実施	開催期日：1月3日 開催場所：コカ・コーラウエストスポーツパーク 開催内容：ファミリー(1km)、1.5km小学生、1.5km中学生以上、3km、5km
生涯学習・スポーツ課	スボレク祭開催費	市民誰もが気軽に参加できるニュースポーツ中心のレクリエーション競技を実施し、生涯スポーツの普及を図る。	開催期日：9月24日ほか 開催場所：市民体育館ほか 開催内容：ニュースポーツ等を中心に14種目	大会開催（14種目） 参加人数：1,003人	A	今年度も14種目を実施し、多くの市民に参加いただいた。	より多くの市民に参加いただけるよう、種目、内容の改善を図っていく。	開催期日：9月2日ほか 開催場所：市民体育館ほか 開催内容：ニュースポーツ等を中心に14種目
生涯学習・スポーツ課	スポーツ教室開催費	鳥取市体育協会に所属する各種目協会などによるスポーツ教室を通じ、スポーツの普及拡大を図る。	種目毎に随時開催	22種目 参加者数：19,253人	A	昨年度より、開催種目が3種目増え、幅広い種目でスポーツに触れる機会が増えた。	継続実施	種目毎に随時開催
生涯学習・スポーツ課	みんなで歩こう会	郷土の名勝・旧跡を訪ねながら、みんなで歩くことにより健康及び体力の増進を図る。	毎月1回、郷土の名勝・史跡を巡る「歩こう会」を開催（市民団体実施事業）	毎月1回、郷土の名勝・史跡を巡る「歩こう会」を開催（市民団体実施事業）	A	鳥取市内から近隣の県外市町などコースを変更しながら、参加者がウォーキングを楽しむことができた。	継続実施	毎月1回、郷土の名勝・史跡を巡る「歩こう会」を開催（市民団体実施事業）
生涯学習・スポーツ課	鳥取市武道館 武道教室	文化や伝統を尊重し暖かく豊かな心を育て、礼儀作法を大切にし、技術の修得の過程において心身を鍛錬しながら人間形成を図る。	柔道教室、剣道教室、ヨガ教室を年間開催（指定管理者実施事業）	柔道教室80回、剣道教室80回、チャレンジ柔道形教室1回、剣道ミニレッスン1回、リラクソヨガ教室8回開催（指定管理者実施事業）	A	定期開催の柔・剣道教室を開催することにより、参加者自身の鍛錬をはじめとした人間形成を図ることができた。	継続実施	柔道教室、剣道教室、ヨガ教室を年間開催（指定管理者実施事業）
生涯学習・スポーツ課	鳥取市B&G海洋センター事業	こども、社会人、中高年等を対象に、明るく健康にすごせるようなスポーツ教室を開く。特に武道、海洋性スポーツを通じて、鳥取の自然や文化を楽しむところの育成を図る。	剣道教室、なぎなた教室、ヨット・カヌー教室、テニス教室、インドアテニス教室を随時開催（指定管理者実施事業）	少年少女ヨット・カヌー大会、テニス大会、スポーツ交流会、七夕イベント、クリスマスイベント、カヌー体験 各1回 出前カヌー教室4回	A	剣道・なぎなた・テニス教室を定期的に開催することにより参加者の健康増進を図ることができた。また、地域への出前カヌーを行うことにより、地域の子どもたちに海洋性スポーツの楽しさについて触れてもらうことができた。	継続実施	剣道教室、なぎなた教室、ヨット・カヌー教室、テニス教室、インドアテニス教室を随時開催（指定管理者実施事業）
生涯学習・スポーツ課	市民体育祭	スポーツ大会への参加を通じ、市民の体力の増進を図るとともに、地域人々、地域間の交流を促進する。	開催期日：5月上旬から10月中旬まで 開催場所：市民体育館ほか 開催内容：小学校校区ごとに19種目の競技を行い得点を競い合う	鳥取市の掲げる市民総スポーツ運動の中核となる事業であり、生涯スポーツの推進はもとより小学校区対抗とすることで、地域の一体感の醸成、他地域の交流の場として寄与している。 参加人数：23,314人	A	市内を44校区に分け、19種目（うちオープン種目4種目）で競技を実施し、スポーツを通じた地域及び市民間の交流をすることができた。	選手の高齢化が進んでおり、若年層が参加しやすい環境を構築していく。	開催期日：5月中旬から10月上旬まで 開催場所：市民体育館ほか 開催内容：小学校校区ごとに20種目の競技を行い得点を競い合う

生涯学習・スポーツ課	地区体育祭	スポーツを通して健康づくりや体力の向上を目指すとともに 明るい地域づくりの交流を深める。	運動会、バレーボール、ソフトボール、卓球大会等を各地区 で随時実施	運動会、バレーボール、ソフトボール、卓球大会等を各地区 で随時実施	A	各地域で体育祭やスポーツイベントを企画、実施し、住民 同士の交流を図れた。	継続実施	運動会、バレーボール、ソフトボール、卓球大会等を各地区 で随時実施
高齢社会課 長寿社会課 ※平成30年～	スポーツ教室	高齢者の仲間づくり、健康づくり、生きがいづくりを図 る。	開催場所：鳥取市民体育館ほか 内容：ニュースポーツ講習会を通じて健康の維持・増進	開催場所：鳥取市民体育館ほか 内容：ニュースポーツ講習会を通じて健康の維持・増進 参加者数：117人	A	前年度よりも参加者数が増加しており、健康の維持・増進 の役割を果たすとともに、ニュースポーツの普及にも寄与 していると考えられるため。	引き続き活動を実施し、高齢者の健康の維持・増進を図 る。	
高齢社会課 長寿社会課 ※平成30年～	おとしより大運動会	スポーツを通じて、高齢者相互の親睦とともに生きがいづ くりと健康増進を図る。	「おとしより芸能大会」と「おとしより大運動会」を隔年で開 催しており、平成29年度は「おとしより大運動会」を開催 する。	開催場所：コカ・コーラボトラーズジャパン県民体育館 参加人数：560人	A	参加者相互の親睦、スポーツを通じた健康増進が図れたと 考えるため。	引き続き、スポーツを通じて、高齢者相互の親睦とともに 生きがいづくりと健康増進を図る。	「おとしより芸能大会」と「おとしより大運動会」を隔年で開 催しており、平成30年度は「おとしより芸能大会」を開催 する。
教育委員会鹿野町分室	地区公民館事業 (総合型地域スポーツクラブ育成事業)	地域住民の健康増進と地域のスポーツ環境を整備するため 実施。	スポーツ8教室50回	スポーツ教室(ストレッチ教室、ダンス教室、水中ウォー キング教室、整体体操教室、アーチェリーハント等)7教 室45回開催。参加者数延べ320人。	B	参加拡大に向けて、従来の教室に加えて、ニュースポーツ 「アーチェリーハント」を開催したが、参加人数が昨年度 よりも減少したため	教室開催の広報を強化し、幅広い世代の参加とともに参加 人数の増加を目指す。	地域の健康増進とスポーツ環境整備を目的とし、地域型総 合スポーツクラブ(NPO法人鹿の助スポーツクラブ)へ スポーツ教室の開催を委託する。(スポーツ教室6教室33 回)
中央保健センター	離乳食講習会	離乳食の適切な摂取と望ましい食習慣の定着を図る。	開催場所：さざんか会館、国府地区保健センター、河原老 人福祉センター、気高地区保健センター 講座内容：離乳食の適正な摂取方法等の講話並びに実演、 試食、個別相談等全42回開催	開催場所：さざんか会館、国府地区保健センター、河原老 人福祉センター、気高地区保健センター 実施回数：4会場全42回開催(受講保護者709人) 講座内容：離乳期の月齢に添った適正な摂取方法や離乳食 開始を機とした生涯の健康づくりにつながる食生活の講 話、調理実演および試食。希望者に個別相談を実施。	A	受講後アンケートでは99%が「参考になった」と回答。 「参考になった具体的内容」では、「作り方やメ ニュー」、「味や固さ」と回答した者が7割と最も多く、 講話に加えて、実演や試食を行うことの効果もあると考え られるため。	受講者の個別相談においては、児の発達に伴う食支援やア レルギーに伴うこと、保護者の養育をする力を考慮したも の等、複雑多岐になっており、個々に応じた対応を、高い スキルをもって実施し、集団指導のみならず、保護者の不 安軽減、児の健やかな成長につなげることに努める。	開催場所：さざんか会館、国府地区保健センター、河原老 人福祉センター、気高地区保健センター 実施回数：4会場全42回開催(受講保護者709人) 講座内容：離乳期の月齢に添った適正な摂取方法や離乳食 開始を機とした生涯の健康づくりにつながる食生活の講 話、調理実演および試食、個別相談(希望者)を実施。
農業振興課	市民農園設置事業費	市民農園を開設することにより、遊休農地の有効利用、市 民の健全なレクリエーション機会の創出及び健康の増進等 に資する。	市民農園設置数 7地区 399区画	市民農園設置数 7地区 354区画(利用率88. 72%)	B	利用区画面率が7割を上回っているため	排水の関係で利用に不適切と思われる区画の選別を行う 吉岡地区の利用率が低いため、打開策の検討を行う	市民農園設置数 7地区 399区画
教育委員会瀬戸町分室	もちがせ流しびなマラニック大会	市民相互の健康づくり及び親睦、健全なスポーツ活動の振 興を図る。	開催日時：平成29年5月21日(日)受付 8:30～ 出発 10:00～12:30予定 開催場所：流しびなの館周辺 事業内容：3・5・10kmのマラソンコースを年代・性 別に分けた11種目とウォーキング2コースの合わせて5 コース・13種目で開催。ランナーからゆつくり歩く人まで 誰でも気軽に参加できる大会。本年で第30回を迎える。	開催日時：平成29年5月21日(日) 開催場所：流しびなの館周辺 事業内容：3・5・10kmのマラソンコースを年代・性別に 分けた11種目とウォーキング2コースの合わせて5コース・ 13種目で開催。参加申込者1,519人。	B	計画をおおむね達成した。	事業内容、運営方法の見直し	開催日時：平成30年5月20日(日)受付 8:30～ 出発 10:00～12:30 開催場所：流しびなの館周辺 事業内容：3・5・10kmのマラソンコースを年代・性 別に分けた11種目とウォーキング2コースの合わせて5 コース・13種目で開催。ランナーからゆつくり歩く人まで 誰でも気軽に参加できる大会。本年で第31回を迎える。
教育委員会福部町分室	鳥取砂丘らっきょう花マラソン開催	らっきょうマラソン大会を通して、地場産業の振興とあわ せ、観光農業を含めた地域の振興を図る。 らっきょうマラソン大会を通して、観光農業を含めた地域 の振興を図る。10キロ、6キロ、3キロのコースを自分 の健康にあわせて赤紫の花咲くらっきょう畑の中を走る。	開催日：平成29年10月29日(日) 開催場所：鳥取砂丘オアシス広場 スタート：10:00から らっきょうマラソン大会を通して、観光農業を含めた地域 の振興を図る。 10キロ、5キロ、3キロ、ウォークのコースを自分の健 康にあわせて赤紫の花咲くらっきょう畑の中を走る。参加 者数1,752名	開催日：平成29年10月29日(日) 開催場所：鳥取砂丘オアシス広場 スタート：10:00から 事業内容 10キロ、5キロ、3キロ、ウォークのコースを自分の健 康にあわせて赤紫の花咲くらっきょう畑の中を走る。参加 者数1,752名	A	計画通り実施出来たため	引き続き、らっきょうマラソン大会を通して、地場産業の 振興とあわせ、観光農業を含めた地域の振興と観光農業を 含めた地域の振興を図る	開催日：平成30年10月28日(日) 開催場所：鳥取砂丘オアシス広場 スタート：10:00から らっきょうマラソン大会を通して、観光農業を含めた地域 の振興を図る。 10キロ、5キロ、3キロ、ウォークのコースを自分の健 康にあわせて赤紫の花咲くらっきょう畑の中を走る。
教育委員会青谷町分室	スポーツ教室	市民の健康づくりと生涯スポーツの普及を図る。	卓球教室を6回開催予定。各回10名程度。	卓球教室を6回開催。延べ70人参加。	A	計画通り実施した	予算措置なく、新規参加者も見込めないで、事業を廃止 する。	事業廃止
教育委員会青谷町分室	こばしまウォーキング	心と身体の健康づくりと青谷町内の豊かな自然を体感する	開催日：平成29年11月3日(金・祝) 実施場所：中 郷体育館発着 参加募集100名 「ウォーキング立県1 9のまちを歩こう」「鳥取市西いなばようこそスタンプラ リー」「山陰海岸ジオパーク120キロウォーク」と連 携。ゴール後はお楽しみ抽選会を実施。	開催日：平成29年11月3日(金・祝) 実施場所：中 郷体育館発着 参加者99名 「ウォーキング立県19の まちを歩こう」「鳥取市西いなばようこそスタンプラ リー」「山陰海岸ジオパーク120キロウォーク」と連 携。ゴール後はお楽しみ抽選会を実施。	A	計画通り実施した	特になし	開催日：平成30年11月3日(土・祝) 実施場所：日 置谷地区公民館発着 参加募集100名 「ウォーキング 立県19のまちを歩こう」「鳥取市西いなばようこそスタ ンプラリー」と連携。ゴール後はお楽しみ抽選会を実施。
教育委員会青谷町分室	青谷町正月マラソン大会	“楽しくマイペースで走ろう”をキャッチフレーズに、参 加者一人ひとりが年間を通して心身共に健康な体を養い、 維持していく	平成30年1月1日(月)開催予定	開催日：平成30年1月1日(月)、実施場所：青谷町農 林漁業者トレーニングセンター発着、237名参加。ゴール 後はお汁粉をふるまい、福引大会を実施。	A	計画通り実施した	特になし	平成31年1月1日(火)開催予定
教育委員会青谷町分室	青谷町ソフトバレーボール大会	ソフトバレーボールの普及と市民の健康増進及びこれに係 る意識の高揚に資すること	平成30年2月18日(日)開催予定	開催日：平成30年2月18日(日)、実施場所：青谷町 体育館、33名の参加。「混成の部」8チームで実施。	B	参加者が少なかった	体協主催で実施するのか検討が必要	平成31年2月17日(日)開催予定

(5) 世代間交流や地域間交流の活性化を図る取組

担当課	事業名	事業目的	平成29年度事業計画	平成29年度事業実績	達成度	達成度の判定理由	今後の見直し方針	平成30年度事業計画
さじアストロパーク	さじアストロパーク3大まつり	星・月・雪をテーマとして開催し、多くの皆さまにさじアストロパークにお越しいただき、地域住民と一緒に星・月・雪に親しみ・楽しく遊ぶ。	①星まつり 開催日 平成29年7月22日(土) ②月まつり 開催日 平成29年11月3日(金) ③雪まつり 開催日 平成30年2月12日(月)	①星まつり 開催日 平成29年7月22日(土) 参加者数 370人 ②月まつり 開催日 平成29年11月3日(金) 参加者数 470人 ③雪まつり 開催日 平成30年2月12日(月) 参加者数 339人	A	夏期に実施した「星まつり」は、天候不良であったが、各まつりともイベント内容の趣向を凝らしたものが多くあり、参加アンケートの評価もよく計画を十分に達成できたと判断した。	実行委員やスタッフの確保に努め、魅力ある3大イベントとなるように努める。	①星まつり 開催日 平成30年7月31日(火)～8月5日(日) ②月まつり 開催日 平成30年9月22日(土) ③雪まつり 開催日 平成31年2月11日(月)
高齢社会課 長寿社会課 ※平成30年～	お年寄りと地域ぐるみの世代間交流	地域内の老人クラブ・子供会組織・障がい者等が互いに交流をすることによって、地域コミュニティーの構築を図る。	開催場所：41地区 内容：地域による様々な催し等	開催場所：29地区 内容：地域による様々な催し等 参加者：4, 220人	A	開催地区数、参加者数のいずれも前年度より増加しており、相互交流による地域コミュニティーの構築が図られていると考えられるため。	引き続き多様な催しを実施することにより世代間交流を促進する。	開催場所：41地区 内容：地域による様々な催し等
教育委員会鹿野町分室	地区公民館事業（津和野町交流事業）	鹿野町時代からの姉妹都市である津和野町と親睦を図るため、相互訪問を実施する。	「津和野藩主亀井家入城400年記念式典」へ出席し、今後の鹿野町と津和野町の交流の一層の発展充実を図る。 訪問期日：H29.9.9～9.10 訪問先：津和野町 訪問者：鳥取市教育長/NPOいんしゅう鹿野まちづくり協議会2名 鹿野町総合支所長	訪問期日：H30.9.9～9.10 訪問先：津和野町 訪問者：鳥取市教育長、NPOいんしゅう鹿野まちづくり協議会2名、鹿野町総合支所長 計4名 訪問内容：津和野藩主亀井家入城400年記念式典、町内見学（温故館、津和野神社、物見櫓、永明寺）	A	鹿野町と津和野町を結ぶ「亀井家」関係事業へ出席した。関係者と情報交換をすることで、歴史景観等を保全・活用しながら地域づくりを推進していく当町の積極的な取り組みを学ぶなど相互交流を行うことができた。	現在直面する課題解決に向けて、互いの地域の優れた取り組みを参考にする等交流の活用を進め、両地域の発展につながる交流を展開していく。	地域住民を主体とした相互訪問・交流事業を実施する。
観光戦略課	岩国祭り派遣事業／姫路お城まつり派遣事業	本市の郷土芸能「しゃんしゃん傘踊り」を派遣し、本市の観光宣伝及び姉妹都市岩国市、姫路市との交流を深める。（岩国市派遣事業は隔年で事業実施）	岩国まつり、姫路お城まつりで行われるパレードにしゃんしゃん傘踊り連を派遣	姫路お城まつりで行われるパレードにしゃんしゃん鈴の音大使と鳥取市観光協会連を派遣し、本市の観光PRを実施。（岩国市派遣事業は隔年で事業実施のため、29年度は派遣していない。）	A	姫路市民をはじめ多くの観光客に観覧していただき、鳥取市のPRを十分に実施することができた。	継続して実施していく。	岩国まつり、姫路お城まつりで行われるパレードにしゃんしゃん傘踊り連を派遣。
地域振興課	輝く中山間地域創出事業 里山交流促進モデル事業 (H30年度より事業名変更)	中山間地域の住民自らが行う課題解決や魅力創出の取組、中山間地域の資源を活用したむらとまちの交流を支援することにより、相互の連携と理解の機会を創出し中山間地域の活性化を図る。	中山間地域の資源を活用したむらとまちの交流を支援する。 目標実施件数：4交流	実施件数：1交流を支援	E	目標実施件数に対する達成率が30%未満となったため	広報の手法を検討し、事業の更なる周知を図る。	中山間地域の資源を活用したむらとまちの交流を支援する。 目標実施件数：2交流
教育委員会福部町分室	むらづくり運動推進事業	福部町の活性化を図る ①環境美化活動の推進②青少年の健全育成を図る ③同和教育の推進	あいさつの幟旗の設置（毎月1日～一週間）、花いっぱい運動～コンクール（5月～9月） 町内一斉清掃（2回）、福部町まちづくり推進大会（2月）	あいさつの幟旗の設置（毎月1日～一週間）、花いっぱい運動～コンクール（5月～9月） 町内一斉清掃（2回）、福部町まちづくり推進大会（2月）	A	計画通り実施出来たため	引き続き、福部町の活性化を図る ①環境美化活動の推進 ②青少年の健全育成を図る ③同和教育の推進	実施主体は福部地区公民館なので分室業務からは外す
生涯学習・スポーツ課	地区公民館事業（子どもと大人のふれあい事業）	地域で子どもたちを育てる環境の整備を図ることにより、週末における子どもたちのボランティア活動・体験活動の機会を充実・支援する。	地区公民館において子どもと大人のふれあい事業の開催	全61地区公民館で実施。 実施回数：739回 延べ参加者数：38,920人	A	地区ごとにその地域性にあった取り組みを行い、事業目的に向け計画通り実施できたため。	各地区公民館が事業目的に合致した地域性にあった取り組みを実施できるよう、必要に応じて支援していく。	地区公民館において子どもと大人のふれあい事業の開催

(6) その他（上記項目に該当しない事業）

担当課	事業名	事業目的	平成29年度事業計画	平成29年度事業実績	達成度	達成度の判定理由	今後の見直し方針	平成30年度事業計画
生涯学習・スポーツ課	地区公民館事業（特色ある公民館活動事業）	地域の特性を踏まえて、特性を活かしながら、公民館独自の発想で事業を企画・実施する。	地区公民館において特色ある公民館活動事業の開催	全62地区公民館（分館1館含む）で実施。 実施回数：449回 延べ参加者数：18,801人	A	地区ごとにその地域性にあった取り組みを行い、事業目的に向け計画通り実施できたため。	各地区公民館が事業目的に合致した地域性にあった取り組みを実施できるよう、必要に応じて支援していく。	地区公民館において特色ある公民館活動事業の開催
鳥取砂丘・ジオパーク推進課	山陰海岸ジオパーク出前講座・現地学習会事業	山陰海岸ジオパークを題材とした自然環境、歴史・文化、産業、生活様式などの地域資源を活用して、体験・学習の場づくりを図る。	各地区公民館の要望に沿ったテーマやルートコースの提案を行い、あわせて講師または現地ガイドを派遣し、公民館活動を支援する。	ジオパーク拠点施設（鳥取砂丘ジオパークセンター、湖山池情報プラザ、あおや郷土館）での実績 出前講座、校外学習受入れ等：67校 出前講座、現地研修受入れ等：35団体	A	各ジオサイトに訪れる観光客を中心に、ジオパークの内容や仕組みを理解してもらえた。	ジオパークの理解を深められるよう支援する。	各地区公民館の要望に沿ったテーマやルートコースの提案を行い、あわせて講師または現地ガイドを派遣し、公民館活動を支援する。

2 社会的課題に関する学習機会の充実

(1) 共生社会の実現を旨とした人権に関する学習の推進

担当課	事業名	事業目的	平成29年度事業計画	平成29年度事業実績	達成度	達成度の判定理由	今後の見直し方針	平成30年度事業計画
男女共同参画課	男女共同参画啓発講座 (輝なんせ鳥取による講座) 「再掲」	性別による役割分担意識等に基づく社会的慣習・風潮の見直しと啓発を図る。	開催場所：男女共同参画センター他 講座内容：男女共同参画基礎講座、いきいき女性塾、わくわく男性塾、いきいき生活塾等	開催回数：16講座17回 開催場所：男女共同参画センター等 参加者数：748人（定員661人）	AA	周知等の徹底により目標以上の割合となった。	啓発講座への参加者は女性が多いのが現状であるが、男女共同参画の実現には、男性の理解を深めることが必要不可欠である。今後は、開催方法の工夫や講座の充実を図ること、男性を含めた多くの人に参加してもらえよう、多面的に検討を行っていく必要がある。	開催場所：男女共同参画センター他 講座内容：男女共同参画基礎講座、いきいき女性塾、わくわく男性塾、いきいき生活塾等
人権推進課	研究会開催事業 (人権尊重社会を実現する鳥取市民集会等)	同和問題をはじめとするあらゆる人権課題の解決をめざして研修を深め、実践と交流の輪を広げることを目的に市民集会を開催する。本市民集会是、毎年2,000人近くの参加が見込まれ、あらゆる人権問題の解決に向けた取組みが発表されており、本市の人権啓発・教育の柱として、重要な役割を担っている。また、新市域での人権問題に関わる集会等も実施し、市全体での人権啓発・教育に取り組む。	市民集会是、午前に全体会（講演等）、午後に分科会（事例研究・パネルディスカッション等）を行い、あらゆる人権問題の解決に向けた研究討議を実施する。総合支所で開催する集会等も広く市民に参加を呼びかけ、講演会や討論会を実施する。 ・国府町 人権尊重のまちづくり国府町市民集会 ・福部町 人権啓発研究集会 ・河原町 人権講演会 ・用瀬町 あらゆる差別をなくする用瀬町市民集会 ・佐治町 人権のまちづくり佐治町民集会 ・気高町 人権のまちづくり講演会 ・鹿野町 人権教育に取り組む町民集会 ・青谷町 人にやさしいまちづくり大会など	人権尊重社会を実現する鳥取市民集会（H29.8.25開催、1200人参加）は、午前に全体会（講演）、午後から人権課題別に6つの分科会を行い、あらゆる人権問題の解決に向けた研究討議を実施した。 また、総合支所では講演会や討論会を実施した。 ・国府町 人権尊重のまちづくり国府町市民集会（H29.11.23開催、70人参加） ・福部町 人権啓発研究集会（H29.7.9開催、120人参加） ・河原町 人権講演会（H29.12.3開催、91人参加） ・用瀬町 あらゆる差別をなくする用瀬町市民集会（H30.3.4開催、91人参加） ・佐治町 人権のまちづくり佐治町民集会（H29.12.3開催、34人参加） ・気高町 人権のまちづくり講演会（H29.12.2開催、50人参加） ・鹿野町 人権教育に取り組む町民集会（H29.11.18開催、170人参加） ・青谷町 人にやさしいまちづくり大会（H29.12.3開催、19人参加）	A	人権尊重社会を実現する鳥取市民集会の参加者は1,200人となり、前年度を大きく上回ることができたため。	人権尊重社会を実現する鳥取市民集会をはじめ、新市域でも講演会や集会を毎年実施している。その時々々の社会情勢をみて、関心度の高いテーマを取り上げて開催していくことが重要だと考える。	市民集会是、午前に全体会（講演等）、午後に分科会（事例研究・パネルディスカッション等）を行い、あらゆる人権問題の解決に向けた研究討議を実施する。総合支所で開催する集会等も広く市民に参加を呼びかけ、講演会や討論会を実施する。 ・国府町 人権尊重のまちづくり国府町市民集会 ・福部町 人権啓発研究集会 ・河原町 人権講演会 ・用瀬町 あらゆる差別をなくする用瀬町市民集会 ・佐治町 人権のまちづくり佐治町民集会 ・気高町 人権のまちづくり講演会 ・鹿野町 人権教育に取り組む町民集会 ・青谷町 人にやさしいまちづくり大会など
人権推進課	鳥取市人権教育協議会補助金 (各種団体等を対象とした人権啓発)	鳥取市人権教育協議会は、社会教育団体、企業、行政関係団体などが加入し、各種の啓発活動を実施している。この鳥取市人権教育協議会の運営に要する経費を補助することにより、さまざまな人権問題解決の取り組みを推進する。	鳥取市人権教育協議会（事務局：人権推進課）の主な事業計画 ・人権尊重社会を実現する鳥取市民集会の企画運営 ・各部会（社会教育・企業・行政関係）における研修会等の開催 ・全国集会等への派遣（西日本夏期講座、部落解放研究全国集会、全国人権・同和教育研究大会、人権啓発研究集会、人権尊重社会を実現する鳥取県研究集会） ・市人教たより「つなぐ」の発行	・補助金 3,259千円 ・第44回人権尊重社会を実現する鳥取市民集会（H29.8.25開催、1200人参加） ・市人教たより「つなぐ100号」発行 市内全戸配布 ・社会教育部会、企業部会、行政関係部会で研修会を延7回開催 ・各種全国集会等への派遣 延24人	A	人権尊重社会を実現する鳥取市民集会の参加者は1,200人となり、前年度を大きく上回ることができた。当初予定していた事業も滞りなく実施することができた。		鳥取市人権教育協議会（事務局：人権推進課）の主な事業計画 ・人権尊重社会を実現する鳥取市民集会の企画運営 ・各部会（社会教育・企業・行政関係）における研修会等の開催 ・全国集会等への派遣（西日本夏期講座、部落解放研究全国集会、全国人権・同和教育研究大会、人権啓発研究集会、人権尊重社会を実現する鳥取県研究集会） ・市人教たより「つなぐ」の発行
人権推進課	社会人権教育推進事業	地域に根ざした人権教育を推進するため、住民と直結した推進体制の充実を図る。具体的には、人権啓発の指導者養成を目的とした研修会・講座の開催、また全国規模の各種研修会への派遣を行い、人権教育の推進に生かすことを目的とする。	・地区同推協等会長研修会（年1回開催） 地区同推協等の会長を対象とした研修会を実施し、地域のリーダーを育成する。 ・推進員全体研修会（年2回開催） 各地区から推薦された4名の推進員を対象とした研修会を実施し、人材育成を図る。 ・市人権教育推進員の派遣 各地区同推協等主催で行われる小地域懇談会等の実施をサポートする。 ・全国集会への派遣	・地区同推協等会長研修会（H29.6.30開催、46人参加） 地区同推協等の会長を対象とした研修会（フィールドワーク）を実施し、地域のリーダーを育成した。 ・推進員全体研修会（H29.6.24、6.25、12.15、12.16開催、延309人参加） 各地区から推薦された4名の推進員を対象とした研修会を実施。 ・市人権教育推進員の派遣（配備人数13人、派遣回数244回） 各地区同推協等主催で行われる小地域懇談会等の実施をサポートした。 ・全国集会へ派遣した。（4集会へ延12人）	A	事業計画のとおり事業を実施できた。各種研修会等についても、昨年度以上の参加者があった。		・地区同推協等会長研修会（年1回開催） 地区同推協等の会長を対象とした研修会を実施し、地域のリーダーを育成する。 ・推進員全体研修会（年2回開催） 各地区から推薦された4名の推進員を対象とした研修会を実施し、人材育成を図る。 ・市人権教育推進員の派遣 各地区同推協等主催で行われる小地域懇談会等の実施をサポートする。 ・全国集会への派遣
人権推進課	市人権啓発推進協議会連合会補助金 (地域における人権啓発の推進)	鳥取市地区人権啓発推進協議会連合会は52地区同推協等が加盟している団体で、あらゆる人権問題の解決に向けて、地域に根ざした人権教育をさらに推進している。連合会の活動に対して補助することにより、それぞれの地区同推協等における、小地域懇談会を主とした諸活動を充実させる。	・各地区同和教育推進協議会等（52地区）への活動助成 ・地区人権啓発推進員の育成を目的とした研修会の開催 ・ブロックごと（10ブロック）の研修会（全体研・推進員研・会長研）の実施 ・全国集会・市、県研究集会等への派遣 など	・各地区同推協等活動助成 補助金9,320千円 ・推進員全体研修会（H29.6.24、6.25、12.15、12.16開催、延309人参加） ・各地区同和教育推進協議会等（52地区）への活動助成 ・ブロックごと（10ブロック）の研修会（全体研・推進員研・会長研）を実施した（延29回） ・全国集会・市、県研究集会等へ派遣した。（全国集会：4集会へ延13人、市及び県研究集会へ延366人）	A	事業計画のとおり事業を実施できた。各種研修会等についても、昨年度以上の参加者があった。		・各地区同和教育推進協議会等（52地区）への活動助成 ・地区人権啓発推進員の育成を目的とした研修会の開催 ・ブロックごと（10ブロック）の研修会（全体研・推進員研・会長研）の実施 ・全国集会・市、県研究集会等への派遣 など
生涯学習・スポーツ課	地区公民館事業（人権啓発推進事業）	各地区公民館で、人権教育の推進と人権問題について正しい知識を深める研修会等を開催する。	地区公民館において人権啓発推進事業の開催	全62地区公民館（分館1館含む）で実施。 実施回数：185回 延べ参加者数：6,358人	A	地区ごとにその地域性にあった取り組みを行い、事業目的に向け計画通り実施できたため。	各地区公民館が事業目的に合致した地域性にあった取り組みを実施できるよう、必要に応じて支援していく。	地区公民館において人権啓発推進事業の開催

(2) 男女共同参画に関する学習の推進

担当課	事業名	事業目的	平成29年度事業計画	平成29年度事業実績	達成度	達成度の判定理由	今後の見直し方針	平成30年度事業計画
男女共同参画課	男女共同参画啓発講座 (輝なんせ鳥取による講座) 「再掲」	男女共同参画について認識を深めるための啓発を図る。	開催場所：男女共同参画センター他 講座内容：男女共同参画基礎講座、いきいき女性塾、わくわく男性塾、いきいき生活塾等	開催回数：16講座17回 開催場所：男女共同参画センター等 参加者数：748人(定員661人)	AA	周知等の徹底により目標以上の割合となった。	啓発講座への参加者は女性が多いのが現状であるが、男女共同参画の実現には、男性の理解を深めることが必要不可欠である。今後は、開催方法の工夫や講座の充実を図ること、男性を含めた多くの人に参加してもらえよう、多面的に検討を行っていく必要がある。	開催場所：男女共同参画センター他 講座内容：男女共同参画基礎講座、いきいき女性塾、わくわく男性塾、いきいき生活塾等
男女共同参画課	男女共同参画啓発事業 (図書・ビデオの収集・貸出)	図書・情報コーナーを充実することにより、男女共同参画に関する意識啓発を図る。	男女共同参画に関する図書・ビデオの収集・貸出を実施。	図書貸出数：184人(340冊) ビデオ貸出数：1人(1本)	B	新規図書において貸出数が多い傾向にあり、利用者のニーズにあったものとなっている。	より幅広い分野にわたる図書を増やし、利用者への啓発に努める	男女共同参画に関する図書・ビデオの収集・貸出を実施。
男女共同参画課	女と男とのハーモニーフェスタ事業	男女共同参画社会実現のための活動団体等で構成する実行委員会による市民へむけた啓発事業。	開催日時：平成29年10月7日(土) 開催場所：市民会館 参加者数：300人 事業内容：映画鑑賞、ワークショップ、展示、即売等	開催日時：平成29年10月7日(土) 開催場所：市民会館 参加者数：350人 事業内容：映画鑑賞、ワークショップ、展示、即売等	A	実施内容、広報の手段など検討した結果、ほぼ目標どおりとなった。	女性の積極的な社会参画意識の高揚と男女共同参画を推進する団体活動の育成及び相互の連携強化に有効な事業である。今後も、より多くの市民に啓発できるイベントを目指し、実行委員会の運営方法や企画内容について検討する必要がある。また、十分な広報かつ広報活動を実施し、広く市民への周知を図る必要がある。	開催場所、日時、内容等未定
生涯学習・スポーツ課	地区公民館事業(人権啓発推進事業) (再掲)	各地区公民館で、人権教育の推進と人権問題について正しい知識を深める研修会等を開催する。	地区公民館において人権啓発推進事業の開催	全62地区公民館(分館1館含む)で実施。 実施回数：185回 延べ参加者数：6,358人	A	地区ごとにその地域性にあった取り組みを行い、事業目的に向け計画通り実施できたため。	各地区公民館が事業目的に合致した地域性にあった取り組みを実施できるよう、必要に応じて支援していく。	地区公民館において人権啓発推進事業の開催

(3) 防災、安全、消費生活等の生活に関する学習の推進

担当課	事業名	事業目的	平成29年度事業計画	平成29年度事業実績	達成度	達成度の判定理由	今後の見直し方針	平成30年度事業計画
地域福祉課 高齢社会課(H30～)	各種相談事業	市民からの心配ごと相談や、弁護士・司法書士等による無料専門相談を実施する。	法律相談 さざんか会館12回/年、各総合福祉センター計12回/年 司法書士相談 さざんか会館12回/年、各総合福祉センター計3回/年 心配ごと相談 さざんか会館36回/年、各総合福祉センター計96回/年 一般相談 さざんか会館 100日程度/年	○法律相談 17回実施 ○司法書士相談 5回実施 ○心配ごと相談 143回実施 ○一般相談 99回実施 延相談件数 126件	B	予定の相談件数が未達成のものがあるため	特になし	法律相談 さざんか会館12回/年、各総合福祉センター計12回/年 司法書士相談 さざんか会館12回/年、各総合福祉センター計3回/年 心配ごと相談 さざんか会館36回/年、各総合福祉センター計96回/年 一般相談 さざんか会館 99日程度/年
危機管理課	鳥取市防災リーダー養成研修	市民の防災意識の高揚、自主防災組織育成など地域防災力の強化を図るため、地区公民館の管轄する地域を単位として、防災指導員、防災リーダーを設置する。	【研修内容】鳥取大学教授、鳥取地方気象台、鳥取消防署を講師陣とした自然・気象災害のしくみ、応急手当、ハザードマップの活用等の防災に関する講座を開設(4講座/日×3日間=全12講座) 【会場】鳥取環境大学 【開催日】7月30日(日)、8月27日(日)、9月24日(日) ※9/24開催分は、フォローアップ研修にも位置づけ、修了者の再受講も可能とする。 【修了見込】リーダー登録者数…100名(受講者数…300名/実人数)	【研修内容】鳥取大学教授、鳥取地方気象台、鳥取消防署を講師陣とした自然・気象災害のしくみ、応急手当、ハザードマップの活用等の防災に関する講座を開設(4講座/日×3日間=全12講座) 【会場】鳥取環境大学 【開催日】7月30日(日)、8月27日(日)、9月24日(日) ※9/24開催分は、フォローアップ研修にも位置づけ、修了者の再受講も可能とする。 【修了者数】リーダー登録者数…100名(受講者数…425名/延人数)	A	研修修了者を新たに地域の防災活動の中心となる「防災リーダー」として登録、各地域において活動してもらうことを目的として3日間の研修を実施した。 新規受講者は3回、再受講者は昨年の未受講回数を満たすべく研修に臨み、最終的に昨年の89名を上回る100名が要件を満たし新規防災リーダーの登録に至った。 またフォローアップを目的とした受講者は防災知識のさらなる向上という目的を果たした。	新規防災リーダー登録者数は年々増加しており、市民の防災意識の高揚、自主防災組織の育成など地域防災力の強化につながっている。 今後も自主防災会連絡協議会、自治連合会、まちづくり協議会を通じて広く受講者を募る方針である。 また、鳥取市男女共同参画登録団体等へも昨年に引き続き研修の参加依頼をし、女性防災リーダー増強に力を入れていく方針である。	【研修内容】鳥取大学教授など各分野のエキスパートを講師とした自然・気象災害のしくみからその対策まで防災に関する講座を開設することで、高度の知識・技能を習得し、地域における自主防災活動活性化のために活躍できる人材の養成を図る。(4講座/日×3日間=全12講座) 【会場】鳥取環境大学 【開催日】7月22日(日)、8月19日(日)、9月2日(日) 【修了見込】リーダー登録者数…100名(受講者数…300名/実人数)
農業振興課	地域米消費拡大対策事業費(米料理教室)	小学生に米料理の実習を通じて、我が国の食事情及び伝統的な主食である米の大切さを理解してもらうことで、若年層の米離れを防ぎ、米の消費拡大を図る。	米づくり学童体験農園実施校のうち、希望のあった学校の小学校高学年を対象に米を中心とした調理実習を行う。平成29年度実施計画 25回。	25回実施(19校)、生徒数739名	A	事業計画の回数を実施できたため	米料理教室の開催は平成30年度までとする予定。	米づくり学童体験農園実施校のうち、希望のあった学校の小学校高学年を対象に米を中心とした調理実習を行う。平成30年度実施計画 25回。
市民総合相談課	消費生活対策費(消費者啓発出前講座等)	市民の消費生活の安全及び向上を図ることを目的とする。	開催場所：市内各所(開催依頼申込にある会場等) 講座内容：最近の相談事例の紹介や悪質商法の手口とその対策の説明などの出前講座のほか、消団連へ事業委託した消費者寸劇、鳥大落研の協力による消費者落語、啓発パネルによるパネル展示や講演会など 開催回数：年間57回程度	開催回数：年間58回	A	計画していた内容及び回数の事業を実施することができた。	実績も踏まえ、現在の目標を引き続き維持してするものとする。	開催場所：市内各所(開催依頼申込にある会場等) 講座内容：最近の相談事例の紹介や悪質商法の手口とその対策の説明などの出前講座のほか、消団連へ事業委託した消費者寸劇、鳥大落研の協力による消費者落語、啓発パネルによるパネル展示や講演会など 開催回数：年間58回程度
男女共同参画課	男女共同参画啓発講座 (輝なんせ鳥取による講座) 「再掲」	男女共同参画の視点を生かした安全で安心に暮らすための知識習得と意識の向上を図る	開催場所：男女共同参画センター他 講座内容：男女共同参画基礎講座、いきいき女性塾、わくわく男性塾、いきいき生活塾等	開催回数：16講座17回 開催場所：男女共同参画センター等 参加者数：748人(定員661人)	AA	周知等の徹底により目標以上の割合となった。	啓発講座への参加者は女性が多いのが現状であるが、男女共同参画の実現には、男性の理解を深めることが必要不可欠である。今後は、開催方法の工夫や講座の充実を図ること、男性を含めた多くの人に参加してもらえよう、多面的に検討を行っていく必要がある。	開催場所：男女共同参画センター他 講座内容：男女共同参画基礎講座、いきいき女性塾、わくわく男性塾、いきいき生活塾等
経済・雇用戦略課 ★H30～追加	食育アドバイザー派遣事業	小中学生や消費者が、農林水産物や地域の食材を使った料理に対する理解を深めることにより地産地消を推進する。	派遣回数 47件 参加人数 846人	派遣回数 50件 参加人数 903人	A	計画を十分に達成した。(達成率106%)	引き続き、より多くの団体の派遣制度利用を促し、地元食材を使った料理等に対する理解を深め、地産地消の促進を図る。	派遣回数 47件 参加人数 846人

(4) 福祉、健康に関する学習の推進

担当課	事業名	事業目的	平成29年度事業計画	平成29年度事業実績	達成度	達成度の判定理由	今後の見直し方針	平成30年度事業計画
男女共同参画課	男女共同参画啓発講座 (輝なんせ鳥取による講座) 「再掲」	リプロダクティブ・ヘルス/ライツ意識の啓発を図る。	開催場所：男女共同参画センター他 講座内容：男女共同参画基礎講座、いきいき女性塾、わくわく男性塾、いきいき生活塾等	開催回数：16講座17回 開催場所：男女共同参画センター等 参加者数：748人(定員661人)	AA	周知等の徹底により目標以上の割合となった。	啓発講座への参加者は女性が多いのが現状であるが、男女共同参画の実現には、男性の理解を深めることが必要不可欠である。今後は、開催方法の工夫や講座の充実を図ることで、男性を含めた多くの人に参加してもらえよう、多面的に検討を行っていく必要がある。	開催場所：男女共同参画センター他 講座内容：男女共同参画基礎講座、いきいき女性塾、わくわく男性塾、いきいき生活塾等
地域福祉課 高齢社会課(H30～)	社会福祉大会	社会福祉活動の功労者の表彰及び記念講演を開催し、市民の社会福祉活動への意識を高める。	開催場所：鳥取市民会館 開催時期：平成29年11月30日 内容：社会福祉活動功労者の表彰、著名人による記念講演	開催場所：鳥取市民会館 開催時期：平成29年11月30日 内容：社会福祉事業功労者の表彰・感謝・顕彰状贈呈、記念講演 杉若 恵亮 「そのままの心で出逢い、語り合う」 参加者人数：358人	A	大会を順調に施行したため	特になし	開催場所：鳥取市民会館 開催時期：平成30年11月28日 内容：社会福祉活動功労者の表彰、著名人による記念講演
中央保健センター	健康教育	広く健康に関する知識を啓発し、寝たきりや壮年期死亡を減少して元気で楽しく暮らせるまちを目指す。	各保健センター、地区公民館等で、生活習慣病予防(健診、食生活、運動習慣等)、心の健康、歯科保健、疾病予防について、医師、保健師、栄養士、健康運動指導士等が講話や実践を行う。	①健康教育(成人・高齢者) 回数：465回、参加者数：延9,475人 内容：医師や保健師、栄養士等が生活習慣病予防のための健康づくりや介護予防等について講話や実践 ②歯科保健 回数：18回、参加者数：延346人 内容：歯科医師、歯科衛生士による地域住民、施設職員等を対象として、口腔と全身疾患の関係・健口体操等の口腔機能向上のための講話や実践 ③心の健康 回数：53回、参加者数：延1,759人 内容：医師や保健師等による精神障がいやこころの健康についての講話、ゲートキーパー研修会等	B	生活習慣病をはじめとした健康づくりに関する健康教育の機会を地域や全市で取り組むことができた。		各保健センター、地区公民館等で、生活習慣病予防(健診、食生活、運動習慣等)、心の健康、歯科保健、疾病予防について、医師、保健師、栄養士、健康運動指導士等が講話や実践を行う。
中央保健センター	病態別教室(糖尿病)	疾病に対する理解を深め病気の進行を少しでも遅くしたり、またはより良い健康状態を維持することを目的として、糖尿病予防教室の開催等を行う。	場所：各保健センター 対象：健診結果で糖尿病予備群の人、またその家族 ※特定保健指導対象者を除く 回数：各ブロックごと等で設定(1日コース：7回予定) シリーズ等での年度中の開催も検討予定 内容：医師、保健師等による講話(健診結果から自分の健康状態を知る、糖尿病について) 栄養士による講話(食生活について) 健康運動指導士による講話、実践グループワーク、目標設定等	実施回数：延11回(1日コース、フォローアップ教室) 参加者数：延140人 内容：医師、保健師等による講話(健診結果から自分の健康状態を知る、糖尿病について) 栄養士による講話(食生活について) 健康運動指導士による講話、実践グループワーク、目標設定等 評価：教室終了後のアンケートから、糖尿病の理解と自分自身の健康状態の把握、予防方法についてほとんどの人が理解できたと回答した。日常生活の中で取り組むことを具体的に考えられた人もあった。	B	日常生活の振り返りと改善方法を知ること、生活習慣病予防につながった。		場所：各保健センター等 対象：健診結果で糖尿病予備群の人、またその家族 ※特定保健指導対象者を除く 回数：中央、各ブロックで設定予定(1日コース、シリーズ開催等) 内容：医師、保健師等による講話(健診結果から自分の健康状態を知る、糖尿病について) 栄養士による講話(食生活について) 健康運動指導士による講話、実践グループワーク、目標設定等

4 学習した成果を活かす仕組みづくりと人材育成

(1) 指導者やリーダー、コーディネーター等の養成

担当課	事業名	事業目的	平成29年度事業計画	平成29年度事業実績	達成度	達成度の判定理由	今後の見直し方針	平成30年度事業計画
地域振興課	鳥取市過疎地域・中山間地域人材養成事業	人材養成塾「とっとりふるさと元気塾」を開校し、地域課題等に対し主体的に取り組むことのできる地域のリーダー・実践者を養成する。	①「とっとりふるさと元気塾」の設置・運営 ②テーマ別専門講座および地域別出前養成講座の開催【計15回程度】 ③元気塾リーダー講座（仮称）の開催【1回以上】 ④元気塾コンクール（仮称）の開催【1回以上】 ⑤全地域を対象とした公開講座の開催（開校式、成果報告会）【各1回】	①テーマ別専門講座 16回 ②地域別出前養成講座 5回 ③スーパーリーダー講座 3回 ④全市公開講座 2回 ⑤元気塾地域づくり表彰式 1回 ⑥リーダー認定者数 24名	AA	テーマ別専門講座、地域別出前養成講座、スーパーリーダー講座において計画を上回る回数の講座を実施したため	内容がマンネリ化しないよう内容の工夫と併せて、また、参加者が比較的に少ない女性や若者向けの講座にも力を入れ、参加者数を増やしていく。	①「とっとりふるさと元気塾」の設置・運営 ②テーマ別専門講座および地域別出前養成講座の開催【計15回程度】 ③元気塾スーパーリーダー講座の開催【1回以上】 ④元気塾地域づくり表彰の開催【1回以上】 ⑤全地域を対象とした公開講座の開催（開校式、成果報告会）【各1回】

(2) 各種展示、発表会の開催

担当課	事業名	事業目的	平成29年度事業計画	平成29年度事業実績	達成度	達成度の判定理由	今後の見直し方針	平成30年度事業計画
高齢社会課 長寿社会課 ※平成30年～	高齢者作品展	高齢者の仲間づくり、健康づくり、生きがいづくりを図るため、年に一度、高齢者作品展を開催し、自発的な学習意欲を醸成する。	開催場所：福祉文化会館 内容：日本画、洋画、短歌、俳句、生け花、手工芸、写真、木工品、竹細工・陶芸、書道、表装、その他	開催日：平成29年10月14日～15日 開催場所：福祉文化会館 内容：日本画、短歌、俳句、生け花、手工芸、陶芸、書道、表装、油絵、写真、木目込み人形、バッグほか 出品者数：219人 来場者数：273人	A	出品者数、来場者数のいずれも前年度より増加しており、年に一度の作品展が高齢者の自発的な学習意欲の醸成に寄与していると考えられるため。	開催を継続することにより、高齢者の仲間づくり、健康づくり、生きがいづくり、自発的な学習意欲の醸成を図る。	開催場所：福祉文化会館 内容：日本画、短歌、俳句、生け花、手工芸、陶芸、書道、表装、油絵、写真、木目込み人形、バッグほか
高齢社会課 長寿社会課 ※平成30年～	おとしより芸能大会	市内一円から集まった高齢者のグループが歌や踊りを披露し、高齢者の仲間づくり、健康づくり、生きがいづくりを推進する。（鳥取地域の「おとしより大運動会」と隔年で開催）	「おとしより芸能大会」と「おとしより大運動会」を隔年で開催しており、平成29年度は「おとしより大運動会」を開催する。	「おとしより芸能大会」と「おとしより大運動会」を隔年で開催しており、平成29年度は「おとしより大運動会」を開催する。	-	「おとしより大運動会」との隔年開催のため、平成29年度は開催なし。	引き続き、「おとしより芸能大会」と「おとしより大運動会」を隔年で開催し、高齢者の親睦交流、健康増進を図っていく。	開催場所：市文化センター 内容：各参加地区による、歌・寸劇・詩吟・おどり等の芸能発表会
こども家庭課	保育園児童文化祭事業	子どもたちがあそびを通して豊かな体験や友達との輪を広げる。	開催日（11/5）開催場所（とりぎん文化会館） 事業内容：年長児によるステージ演技、保育士によるふれあい遊び、園紹介・食育啓発の掲示等	開催日：11月5日（日） 開催場所：とりぎん文化会館梨花ホール 参加園：鳥取市公私立45園 内容：年長児のステージ発表他 参加者：5歳児の児童約1000人とその家族他	B	当初計画のとおり実施できた。	子どもたちがあそびを通して豊かな体験や友達との輪を広げることを目的に、今後も継続実施する。	開催場所：県民文化会館 事業内容：年長児によるステージ演技、保育士によるふれあい遊び等の実施
文化交流課	新市域文化協会事業支援	佐治町、国府町を除く文化協会の活動の支援を通して鳥取市域以外の文化事業の推進を支援する。	鳥取市文化芸術事業に関する補助金交付要綱に基づき、新市域の文化団体（連合体）の組織化のため、研修事業の実施、各種展示会、発表会等開催、会報の発行などの事業を展開する連合体の組織化活動を支援する。交付団体：福部、河原、用瀬、気高、鹿野、青谷の6団体	福部、河原、用瀬、気高、鹿野、青谷の文化団体連合体の組織化活動支援を実施。補助金実績）福部：70千円、河原：205千円、用瀬：115千円、気高：95千円、鹿野：140千円、青谷：105千円 計730千円	B	新市域の文化団体が行う各事業、活動に対し、計画通り支援を実施。	引き続き、文化団体連合体の組織化や市民による自主的な文化芸術活動を支援する。	鳥取市文化芸術事業に関する補助金交付要綱に基づき、新市域の文化団体（連合体）の組織化のため、研修事業の実施、各種展示会、発表会等開催、会報の発行などの事業を展開する連合体の組織化活動を支援する。交付団体：福部、河原、用瀬、気高、鹿野、青谷の6団体
教育委員会福部町分室	公民館祭開催費（教委福部町分室）	園児から一般の作品を一堂に展示公開し、広く住民に活動を知ってもらう。	公民館まつりの中で、園児・児童・生徒・一般の作品展示、講演、コンサートなどを行う。	公民館まつりの中で、園児・児童・生徒・一般の作品展示、講演、コンサートなどを行った。	B	参加者が減少したが、概ね予定通り実施出来たため	引き続き、園児から一般の作品を一堂に展示公開し、広く住民に活動を知ってもらうため、公民館まつりを開催する	公民館まつりの中で、園児・児童・生徒・一般の作品展示、芸能発表会などを行う。
協働推進課	公民館祭開催費（鳥取市公民館まつり）	市内61地区公民館を拠点として活動している市民が、丹精込めて制作した作品の数々や、練習を重ねた様々な分野の芸能などの1年間の成果を発表する場として開催し、公民館活動の活性化と生き生きとした地域づくりの推進を図ることを目的とする。	開催日：11月25日（土）、26日（日）開催予定 開催場所：鳥取市文化センター、文化ホール 事業内容：作品展示会、芸能発表会等	開催日：11月25日（土）、26日（日）開催 開催場所：鳥取市文化センター、文化ホール 作品展示会（参加者数1,373人、出品点数2,150点） 芸能発表会（出演団体数15団体、入場者数463人）	B	参加者数が昨年度より増加したが、ほぼ例年とおりの達成状況だった。	・芸能発表：出演団体数を調整し時間短縮を検討。	11月下旬頃、開催予定
協働推進課	公民館祭・地区文化祭	各地区公民館の活動・事業である公民館祭・地区文化祭を開催し、地域の文化活動とコミュニティの推進を図る。	各地区公民館で実施	各地区公民館で実施	A	計画とおりに開催できた。		各地区公民館で実施
教育委員会河原町分室	河原町文化祭	文化祭を通じて、河原地域の住民が創り出した音楽芸能・芸術文化活動を発表し豊かで潤いのある文化の香りを共有する。さらに、住民相互のふれあいと交流を深め地域文化の向上を図る。	開催期日：平成29年10月27・28・29日 開催場所：河原町コミュニティセンター他 実施内容：第40回記念講演会、作品展示、音楽芸能発表会、バザー、お茶席、寒樓遺墨展 延来場者：2,000人	開催期日：平成29年10月27・28・29日 開催場所：河原町コミュニティセンター他 実施内容：第40回記念講演会、作品展示、音楽芸能発表会、バザー、お茶席、寒樓遺墨展 延来場者：2,000人	A	入場者が増えた	入場者を増やす	開催期日：平成30年10月26・27・28日 開催場所：河原町コミュニティセンター他 実施内容：作品展示、音楽芸能発表会、バザー、お茶席、寒樓遺墨展 延来場者予定：2,000人
中央保健センター	鳥取市民健康ひろば	一人ひとりが元気で楽しく暮らせるまちを目指して策定した「とっとり市民元気プラン2016」の推進することを目的とする	日 時：平成29年11月23日（木） 11：00～16：00 場 所：市民会館 内 容：健康相談等の各種コーナー、健康づくり講演会等	日 時：平成29年11月23日（木） 11：00～16：00 場 所：市民会館 内 容：健康相談等の各種コーナー、健康づくり講演会等	B	来場者数が前年を下回ったため	開催時期、場所の再検討	日 時：平成30年11月23日（金） 11：00～16：00 場 所：市民会館 内 容：健康相談等の各種コーナー、健康づくり講演会等
農業振興課	ふるさとの味祭り事業費（自然のめぐみ感謝祭）	生産者と消費者の交流を促進し、本市の農林水産物に対する消費者の理解を深め、地産地消を推進して農林漁業者の所得向上を図る。	開催場所：鳥取市賀露町「わったいな」周辺 内容：鳥取藩の伝統料理「イモコン鍋」を軸に、本市で収穫された農林水産物、加工品、手づくり料理の販売等の収穫祭（いなば農産物フェスタ）に参加し、本市農産物のPRと消費者交流を促進する。 来場予定者数：30,000人 開催予定日：10/14,15	開催日：10/14,15 開催場所：鳥取市賀露町「わったいな」周辺 内容：鳥取藩の伝統料理「イモコン鍋」を軸に、本市で収穫された農林水産物、加工品、手づくり料理の販売等の収穫祭（いなば農産物フェスタ）に参加し、本市農産物のPRと消費者交流を促進した。 来場者数：約28,000人	A	計画通りに開催でき、本市の農産物のPRと消費者交流を促進することができたため		開催場所：鳥取市賀露町「わったいな」周辺 内容：鳥取藩の伝統料理「イモコン鍋」を軸に、本市で収穫された農林水産物、加工品、手づくり料理の販売等の収穫祭（いなば農産物フェスタ）に参加し、本市農産物のPRと消費者交流を促進する。 来場予定者数：30,000人 開催予定日：10/13,14

教育委員会用瀬町分室	用瀬町ふれあいまつり	日ごろの生涯学習の発表の場とするとともに、学習情報、生活情報の発信の場として広く市民に提供し、市民一人ひとりの学習意欲を高め、学習活動への参加を促進することで、生涯学習の一層の振興を図る。	第27回生涯学習もちがせふれあいまつり用瀬町における一年間の生涯学習の成果を発表するイベントを開催。農業部門については、収穫時期の関係により、開催日を分けパート2として実施。 パート1 10下旬(土)～(日)2日間 パート2 11中旬(土)～(日)2日間	第27回生涯学習もちがせふれあいまつり用瀬町における一年間の生涯学習の成果を発表するイベントを開催。農業部門については、収穫時期の関係により、開催日を分けパート2として実施。 パート1 H29.10.21(土)～10.22(日) パート2 H29.11.11(土)～11.12(日)	B	計画をおおむね達成した。	事業の一本化	第28回生涯学習もちがせふれあいまつり用瀬町における一年間の生涯学習の成果を発表するイベントを開催。 日時 H30.10.20(土)～10.21(日)2日間
気高町地域振興課	第14回気高ときめきまつり	郷土文化の発展と文化水準の向上に資するため、作品展示、芸能発表会を開催することにより、市民の文化に関する意識の高揚を図る。	平成29年10月28日(土)、10月29日(日)開催予定	平成29年10月28日(土)、10月29日(日)開催。 開催場所：気高町農業者トレーニングセンター 実施内容：作品展示、芸能発表、ときめきコンサート、お茶席、屋台村など 来場者：2,000人	B	作品展示、芸能発表会を開催することにより、まちづくりの推進が図れた。地元のがら節をテーマとするステージ発表、地元中学生吹奏楽部と吹奏楽グループのコラボ演奏などで盛りあがったイベントとなった。	魅力ある地元の芸能発表の場として内容の充実を図る。	平成30年11月3日(土)、11月4日(日)開催予定。
障がい福祉課	障がい者アート作品展	鳥取市障がい者福祉週間(5/23～29)の関連事業として開催するもので、市内の障害福祉サービス事業所や施設などで日頃から芸術活動・創作活動に取り組んでいる障がいのある方の作品を展示	鳥取市障がい者福祉週間(5/23～29)に、出展団体を募り実施	・期間：H29.5/18～31 ・出展団体：7団体 ・会場：鳥取市中央図書館、清流茶屋かわはら道の駅、鳥取市文化センター	A	障がいのある人が制作した作品を展示し、障がいへの理解を深めるとともに、障がいのある人の文化芸術活動を促進することができた。	出展団体や当事者団体と協議を行いながら、次年度の事業内容を決定する。	・期間：H30.5/17～31 ・出展団体：7団体 ・会場：鳥取市中央図書館、清流茶屋かわはら道の駅、鳥取市文化センター

(3) ボランティアの育成及び活動の活性化

担当課	事業名	事業目的	平成29年度事業計画	平成29年度事業実績	達成度	達成度の判定理由	今後の見直し方針	平成30年度事業計画
高齢社会課 長寿社会課 ※平成30年～	ボランティアバス運行	市民が社会奉仕活動やその活動に関する研修を行う場合、その利便を供するため、ボランティアバスを運行する。	対象者：市民または市内に事務所などを有する団体(10名以上) 運行時間：午前9時から午後4時(年末年始除く) 運行範囲：鳥取市内 市社会福祉協議会へ事業委託	利用回数：69回 利用人数：834人	B	業務が支障なく遂行できた。	公共交通機関利用促進事業への転換などの検討が必要である。	対象者：市民または市内に事務所などを有する団体(10名以上) 運行時間：午前9時から午後4時(年末年始除く) 運行範囲：鳥取市内 市社会福祉協議会へ事業委託
教育委員会気高町分室	気高スカロッツ杯中学生バレーボール選手権大会	中学生に広くバレーボール実践の機会を与え、技術の向上とスポーツマン精神の高揚をはかり、心身ともに健康な中学生を育成することを目的とする。	開催日：平成30年3月下旬 開催場所：気高町農業者トレーニングセンター・青谷町農林漁業者トレーニングセンター 競技方法：1グループ3チームでリーグ戦を行い、各グループの1,2,3位チーム同士で順位決定戦を行う。	開催日：平成30年3月24日(土)、25日(日) 開催場所：気高町農業者トレーニングセンター・青谷町農林漁業者トレーニングセンター 結果：中国、近畿地方から男女各12チーム参加により500名(選手及び役員等含)で行い、活気ある大会となった。	A	それぞれが持っている力を存分にぶつけ合い、お互いの技術向上にもつながった。	特になし	開催日：平成31年3月未定(土)、(日) 開催場所：気高町農業者トレーニングセンター・青谷町農林漁業者トレーニングセンター 競技方法：1グループ3チームでリーグ戦を行い、各グループの1,2,3位チーム同士で順位決定戦を行う。
観光戦略課	観光ボランティアガイド事業	観光ガイドを養成して、観光客に鳥取市の魅力をPRし、おもてなしの心による観光振興を図る。	観光ボランティアガイド団体の活動支援(ガイド活動、まちめぐりガイドマップの作成、観光ガイドの養成)	観光ガイド詰所「きなんせえ家」の設置。 観光ボランティアガイド団体の活動支援及び観光ガイド向け現地研修の実施。	A	計画通り実施されたため。	ボランティアガイド団体活動支援の充実及び実態の把握。	観光ボランティアガイド団体の活動支援(ガイド活動、まちめぐりガイドマップの作成、観光ガイドの養成)
観光戦略課	民間登録サポーター運営支援事業【国際観光】	国際観光客サポートセンターの開設に伴い、鳥取市内の観光地や交通機関の通訳ガイド等をボランティアで行う国際民間サポーターの登録拡充と活動支援を行う。	学習会 年12回 定例会 月2回	活動回数 年90回 学習会 年10回 定例会 月1回	B	実施回数より判定	登録者数の拡充を図る	国際観光客サポートセンターが実施する国際観光客民間サポーター運営事業を支援する。

(4) 人材登録制度の充実

担当課	事業名	事業目的	平成29年度事業計画	平成29年度事業実績	達成度	達成度の判定理由	今後の見直し方針	平成30年度事業計画
観光戦略課	民間登録サポーター運営支援事業【再掲】	国際観光客サポートセンターの開設に伴い、鳥取市内の観光地や交通機関の通訳ガイド等をボランティアで行う国際民間サポーターの登録拡充と活動支援を行う。	学習会 年12回 定例会 月2回	活動回数 年90回 学習会 年10回 定例会 月1回	B	実施回数より判定	登録者数の拡充を図る	国際観光客サポートセンターが実施する国際観光客民間サポーター運営事業を支援する。
生涯学習・スポーツ課	高齢者生きがい促進総合事業(高齢者人材活用事業)	優れた知識、技能を有する高齢者を募り、講師あるいは助言者として、各地域で開催される講演会等に参加・派遣を行う。	事業に地域人材を派遣。 派遣予定回数 15回	派遣回数：8回 講座参加者数：765人	A	派遣回数が増え、参加者数も増加したことから、事業目的を達成できたと考えられるため。	予算上限である15回を達成できるよう、広報の仕方や制度の見直し等につとめる。	派遣回数：9回 講座参加者数：800人

(5) その他(上記項目に該当しない事業)

担当課	事業名	事業目的	平成29年度事業計画	平成29年度事業実績	達成度	達成度の判定理由	今後の見直し方針	平成30年度事業計画
教育委員会河原町分室	河原地域市民スポーツの日	市民の健康増進及び生涯スポーツの普及拡大を願い、子どもから高齢者までがスポーツに楽しむ日として定着を図る。	グラウンドゴルフ大会 開催期日：平成29年6月3日(土) 開催場所：鳥取市河原町稲常グラウンドゴルフ場	グラウンドゴルフ大会 開催期日：平成29年6月3日(土) 開催場所：鳥取市河原町稲常グラウンドゴルフ場 127名参加	B	参加者数が減った	参加者数の増加	グラウンドゴルフ大会 開催期日：平成30年6月2日(土) 開催場所：鳥取市河原町山手グラウンドゴルフ場

5 地域社会の課題解決力・教育力向上と家庭教育の強化

(1) 地域が抱える課題解決に向けた学習機会の提供

担当課	事業名	事業目的	平成28年度事業計画	平成28年度事業実績	達成度	平成29年度事業計画	平成29年度事業実績	達成度	達成度の判定理由	今後の見直し方針	平成30年度事業計画
生涯学習・スポーツ課	地区公民館事業（特色ある公民館活動事業）【再掲】	地域の特性を踏まえて、特性を活かしながら、公民館独自の発想で事業を企画・実施する。	地区公民館において特色ある公民館活動事業の開催 全61地区で実施	62地区公民館（分館1館含む） 実施回数 484回 延べ参加者数 20,500人	A	地区公民館において特色ある公民館活動事業の開催	全62地区公民館（分館1館含む）で実施。 実施回数：449回 延べ参加者数：18,801人	A	地区ごとにその地域性にあった取り組みを行い、事業目的に向け計画通り実施できたため。	各地区公民館が事業目的に合致した地域性にあった取り組みを実施できるよう、必要に応じて支援していく。	地区公民館において特色ある公民館活動事業の開催

(2) 家庭、地域における子育てに関する学習の推進及び情報の提供

担当課	事業名	事業目的	平成28年度事業計画	平成28年度事業実績	達成度	平成29年度事業計画	平成29年度事業実績	達成度	達成度の判定理由	今後の見直し方針	平成30年度事業計画
学校教育課	学力向上推進事業（基礎学力定着支援事業）	小中学校の児童生徒を対象に、学校と地域の基礎学力定着支援者が連携し、放課後及び長期休業を利用した学習活動を実施し、基礎学力の定着を図る。	全小中学校に基礎学力定着支援者を年間50回活用できる予算を配分し、放課後及び長期休業を利用して学習活動を実施する。全小中学校悉皆で実施。	全小中学校に基礎学力定着支援者を年間50回活用できる予算を配分し、放課後及び長期休業を利用して学習活動を実施する。全小中学校で実施した。	A	全小中学校に基礎学力定着支援者を年間50回活用できる予算を配分し、放課後及び長期休業を利用して学習活動を実施する。全小中学校で実施した。	全小中学校に基礎学力定着支援者を年間50回活用できる予算を配分し、放課後及び長期休業を利用して学習活動を実施する。全小中学校で実施した。	A	小中学校の児童生徒を対象に、学校と地域の基礎学力定着支援者が連携し、放課後及び長期休業を利用した学習活動を実施し、基礎学力の定着を図る。	実施計画のとおり、全小・中・義務教育学校で実施する。	全小中学校に基礎学力定着支援者を年間50回活用できる予算を配分し、放課後及び長期休業を利用して学習活動を実施する。全小中学校で実施する。
学校教育課	地域で育む学校支援ボランティア事業	小中学校に地域ボランティアを配置し、生活支援や学習支援、環境整備などの支援活動を行い、学校と地域が協働し児童生徒へのきめ細やかな対応の充実や安心安全な学校生活を実現する。	小中学校にコーディネーターを配置し、地域ボランティアを活用した学習支援・環境整備、登下校の見守り等の活動を実施する。 ・参加団体数：48団体 ・参加ボランティア数：延べ15,000人 ・コーディネーター配置：48人 ・実施学校：小学校38校、中学校10校	小中学校にコーディネーターを配置し、地域ボランティアを活用した学習支援・環境整備、登下校の見守り等の活動を実施する。 ・参加団体数：48団体 ・参加ボランティア数：延べ15,000人 ・コーディネーター配置：48人 ・実施学校：小学校38校、中学校10校	A	小中学校にコーディネーターを配置し、地域ボランティアを活用した学習支援・環境整備、登下校の見守り等の活動を実施する。 ・参加団体数：29団体 ・参加ボランティア数：延べ10,000人 ・コーディネーター配置：29人 ・実施学校：小学校24校、中学校5校	小中学校にコーディネーターを配置し、地域ボランティアを活用した学習支援・環境整備、登下校の見守り等の活動を実施する。 ・参加団体数：29団体 ・参加ボランティア数：延べ10,000人 ・コーディネーター配置：29人 ・実施学校：小学校24校、中学校5校	A	小中学校に地域ボランティアを配置し、生活支援や学習支援、環境整備などの支援活動を行い、学校と地域が協働し児童生徒へのきめ細やかな対応の充実や安心安全な学校生活を実現する。	実施計画のとおり、小・中・義務教育学校で実施する。	小中学校にコーディネーターを配置し、地域ボランティアを活用した学習支援・環境整備、登下校の見守り等の活動を実施する。 ・参加団体数：20団体 ・参加ボランティア数：延べ8,000人 ・コーディネーター配置：20人 ・実施学校：小学校18校、中学校2校
生涯学習・スポーツ課	家庭教育学級	子育てに関する助言を行う家庭教育相談員の資質向上と会員相互の情報交換を行い、子育て相談を行う。	定例会 年間8回 市民公開講座 年3回	定例会 年間9回 市民公開講座 年2回	C	補助金なし		-			
生涯学習・スポーツ課	子育て講座（家庭教育支援事業）	家庭教育に関する学習機会を提供することにより、家庭の教育力の向上を図る。	幼児期講座 6回 小学校入学前講座 44回	幼児期講座 8回 小学校入学前講座 44回（全小学校）	A	幼児期講座 8回 小学校入学前講座 44回	幼児期講座 6回 小学校入学前講座 44回（全小学校）	A	市内全小学校にて就学時健診や学校説明会といった多くの保護者の参加が見込まれる期日に講座を開催することによって、より多くの家庭の教育力の向上を推進できたと考えられるため。	幼児期講座の開催数の増加につなげるよう広報等に努めていく。	幼児期講座 8回 小学校入学前講座 44回（全小学校）
鳥取砂丘・ジオパーク推進課	山陰海岸ジオパーク校外学習支援事業	地域資源を活かした体験学習を実施することで、地質的な学習はもとより、歴史、文化、気候風土など地域の特徴ある魅力を学び、郷土愛を育てる。	本市小学校を対象とし、ゲストティーチャー派遣、校外学習借上げバス代の支援を行う。	校外学習借上げバス代支援：全44校中40校（3,171人）	A	本市小学校を対象とし、ゲストティーチャー派遣、校外学習借上げバス代の支援を行う。	校外学習借上げバス代支援：全44校中39校（3,054人）	A	山陰海岸ジオパーク域内における府県市町で、小学校を対象に現地校外学習を実施している自治体は少なく、学校からも好評を得ている。	ジオパークの理解を深められるよう支援する。	本市小学校を対象とし、ゲストティーチャー派遣、校外学習借上げバス代の支援を行う。

(3) 学校内外での安全確保など子どもたちを育む地域ボランティアの育成

担当課	事業名	事業目的	平成28年度事業計画	平成28年度事業実績	達成度	平成29年度事業計画	平成29年度事業実績	達成度	達成度の判定理由	今後の見直し方針	平成30年度事業計画
生涯学習・スポーツ課	青年団体育成事業（青少年育成鳥取市民会議補助）	青少年問題の解決を図るため	補助金交付予定：各地区協議会 39地区 明るいまちづくりモデル地区：2地区	補助金交付先：各地区協議会 38地区 明るいまちづくりモデル地区：2地区（気高、国府）	A	補助金交付予定：各地区協議会 39地区 明るいまちづくりモデル地区：2地区	補助金交付先：各地区協議会 38地区 明るいまちづくりモデル地区：2地区（国府、佐治）	A	各地区協議会に補助金を交付することにより各地区の青少年健全育成のための活動を支援することができたと考えられるため。	今後も各地区の青少年健全育成のため補助金を交付し活動を支援していく。	補助金交付予定：各地区協議会 39地区 明るいまちづくりモデル地区：2地区

(4) PTAや子ども会等の子どもたちを取り巻く地域団体の組織強化と活動の充実

担当課	事業名	事業目的	平成28年度事業計画	平成28年度事業実績	達成度	平成29年度事業計画	平成29年度事業実績	達成度	達成度の判定理由	今後の見直し方針	平成30年度事業計画
生涯学習・スポーツ課	PTA育成事業	PTA活動の指導者を養成するため小・中学校PTA連合会と連携して、研修会を開催する。	感謝状贈呈 小、中学校PTA連合会 計 40人	感謝状贈呈 小、中学校PTA連合会 計39人（小学校：29人、中学校：10人）	A	感謝状贈呈 小、中学校PTA連合会 計 40人	感謝状贈呈 小、中学校PTA連合会計41人（小学校：25人、中学校：16人）優良PTA文部科学大臣表彰受賞（美保南小学校育友会）	A	PTA活動の振興に功労のあった方へ感謝状を贈呈し、PTAの健全な育成、発展に努めた。 優秀な実績を上げているPTAを文部科学大臣表彰へ推薦、受賞した。	PTA連合会事務の負担軽減策についての検討を行う。	感謝状贈呈：小、中学校PTA連合会

(5) 地域における子ども達の体験活動機会の充実

担当課	事業名	事業目的	平成28年度事業計画	平成28年度事業実績	達成度	平成29年度事業計画	平成29年度事業実績	達成度	達成度の判定理由	今後の見直し方針	平成30年度事業計画
学校教育課	地域で学ぶ職場体験活動事業	中学生が地域の中で様々な社会体験活動を行うことで、地域の人々と共に生きる心や感謝の心を育み、「生きる力」の基礎となる人間性や、自ら課題を見つけ解決していこうとする意欲、態度を醸成する。また、地域社会で生徒を育むという意識の高揚を図る。	中学校の2年生全員が、学校ごとに数名ずつのグループに分かれ、各中学校で設定した連続する3～5日間、地域の事業所や施設等で職場体験活動を行う。活動の円滑な実施及び指導ボランティアの確保等のために、推進協議会を設置する。	中学校の2年生全員が、学校ごとに数名ずつのグループに分かれ、各中学校で設定した連続する3～5日間、地域の事業所や施設等で職場体験活動を行う。活動の円滑な実施及び指導ボランティアの確保等のために、推進協議会を設置する。	A	中学校の2年生全員が、学校ごとに数名ずつのグループに分かれ、各中学校で設定した連続する3～5日間、地域の事業所や施設等で職場体験活動を行う。活動の円滑な実施及び指導ボランティアの確保等のために、推進協議会を設置する。	中学校の2年生全員が、学校ごとに数名ずつのグループに分かれ、各中学校で設定した連続する3～5日間、地域の事業所や施設等で職場体験活動を行う。活動の円滑な実施及び指導ボランティアの確保等のために、推進協議会を設置する。	A	中学生が地域の中で様々な社会体験活動を行うことで、地域の人々と共に生きる心や感謝の心を育み、「生きる力」の基礎となる人間性や、自ら課題を見つけ解決していこうとする意欲、態度を醸成する。また、地域社会で生徒を育むという意識の高揚を図る。	実施計画のとおり、全中学2年生・義務教育学校8年生で実施する。	中学2年生、義務教育学校8年生全員が、学校ごとに数名ずつのグループに分かれ、各中学校で設定した連続する3～5日間、地域の事業所や施設等で職場体験活動を行う。活動の円滑な実施及び指導ボランティアの確保等のために、推進協議会を設置する。
学校教育課	中山間地域ふるさと体験活動支援事業	小学校の児童が農山村での生活体験を通じて、豊かな人間性と社会性などを育むとともに、ふるさとの自然や文化のすばらしさや人の温かさに触れることにより、ふるさとを想うところを育む。	25小学校において、佐治町内での2泊3日の農山村体験活動を実施する。 ・参加予定児童数 1,199人	25小学校において、佐治町内での1泊2日または1泊2日および2泊3日の農山村体験活動を実施した。 ・参加予定児童数 1,199人	A	24小学校において、佐治町内での1泊2日および2泊3日の農山村体験活動を実施した。 ・参加予定児童数 1,122人	24小学校において、佐治町内での1泊2日または1泊2日および2泊3日の農山村体験活動を実施した。 ・参加予定児童数 1,130人	A	小学校の児童が農山村での生活体験を通じて、豊かな人間性と社会性などを育むとともに、ふるさとの自然や文化のすばらしさや人の温かさに触れることにより、ふるさとを想うところを育む。	実施計画のとおり、小・義務教育学校(前期課程)で実施する。	24小学校において、佐治町内での1泊2日および2泊3日の農山村体験活動を実施する。 ・参加予定児童数 1,122人
学校教育課	放課後子ども教室推進事業	放課後の小学校児童の安全で健康的な居場所を確保と、勉強やスポーツ・文化活動等を通じて地域住民との交流を図り、子ども達が地域社会の中で心豊かに育まれる環境づくりを推進する。	神戸・明治・東郷小学校区において、地区公民館を拠点に放課後子ども教室を開設。地域住民がコーディネーター、学習アドバイザー、安全管理員として参画し、勉強やスポーツ・文化活動等を実施する。	神戸・明治・東郷小学校区において、地区公民館を拠点に放課後子ども教室を開設。地域住民がコーディネーター、学習アドバイザー、安全管理員として参画し、勉強やスポーツ・文化活動等を実施した。	A	神戸・明治・東郷小学校区において、地区公民館を拠点に放課後子ども教室を開設。地域住民がコーディネーター、学習アドバイザー、安全管理員として参画し、勉強やスポーツ・文化活動等を実施する。	神戸・明治・東郷小学校区において、地区公民館を拠点に放課後子ども教室を開設。地域住民がコーディネーター、学習アドバイザー、安全管理員として参画し、勉強やスポーツ・文化活動等を実施した。	A	放課後の小学校児童の安全で健康的な居場所を確保と、勉強やスポーツ・文化活動等を通じて地域住民との交流を図り、子ども達が地域社会の中で心豊かに育まれる環境づくりを推進する。	実施計画のとおり、3小学校区において実施する。	神戸・明治・東郷小学校区において、地区公民館を拠点に放課後子ども教室を開設。地域住民がコーディネーター、学習アドバイザー、安全管理員として参画し、勉強やスポーツ・文化活動等を実施する。
生涯学習・スポーツ課	小・中学生ものづくり人材育成事業	ものづくりの体験を通じて、将来の鳥取市を担う人材を育む。小・中学校や公民館等からの要望を受け、鳥取市がアドバイザーを派遣する。	ものづくりアドバイザー活動 派遣回数 40件	派遣回数 49件	AA	ものづくりアドバイザー活動 派遣回数 54件	派遣回数59件	AA	派遣回数が増え、事業の充実がうかがえたから	今後も増えるように周知していく	ものづくりアドバイザー活動 派遣回数 60件
生涯学習・スポーツ課	ものづくり道場推進事業	地域の指導者の発掘・養成を行い、ものづくり人的ネットワークの拡充を図る。そして、地域ぐるみで地域の科学・技術や産業を支える候補人材の養成を行う。	ものづくり道場指導者養成講座 ものづくりカフェ ものづくりイベント ファブラボととりの普及・拡大	ものづくり道場指導者養成講座 東部2回開催、受講者91名 ものづくりカフェ 東部16回開催、参加者219名 ものづくりイベント 東部3回開催、参加者1,456名	A	ものづくり道場指導者養成講座 ものづくりカフェ ものづくりイベント ファブラボととりの普及・拡大	ものづくり道場指導者養成講座 東部2回開催、受講者51名 ものづくりカフェ 東部17回開催、参加者236名 ものづくりイベント 東部5回開催、参加者 1,893名	A	イベント等の参加者が増えることで、指導者の活動が増えた。この結果、参加する子どもたちが多岐にわたる分野のものづくりに触れる機会も増え、ものづくり人材育成につながっているため	周知を今後も続けていくことで、さらなるものづくりのイベント等の機会を増やす	ものづくり道場指導者養成講座 ものづくりカフェ ものづくりイベント ファブラボととりの普及・拡大
生涯学習・スポーツ課	青年のイベント助成事業	健全な青少年の育成と青年組織の活性化を図る。	青少年を対象とした事業を実施する団体に活動費の一部の補助を行う。 予算：160,000円	助成 0団体 ※予算の一部を青少年団体育成補助事業へ充当	D	青少年を対象とした事業を実施する団体に活動費の一部の補助を行う。 予算：160,000円	助成 0団体 ※予算の一部を青少年団体育成補助事業へ充当	-	広報したものの応募がなかったため。	青少年育成市民会議と連携し、さらなる広報の強化に努める等、健全な青少年の育成と青年組織の活性化に努めていく。	青少年を対象とした事業を実施する団体に活動費の一部の補助を行う。 予算：160,000円

(6) その他(上記項目に該当しない事業)

担当課	事業名	事業目的	平成28年度事業計画	平成28年度事業実績	達成度	平成29年度事業計画	平成29年度事業実績	達成度	達成度の判定理由	今後の見直し方針	平成30年度事業計画
生涯学習・スポーツ課	少年スポーツ指導者研修会費	少年スポーツクラブ指導者を対象とした研修会を開催。技術のみならず、心と体の成長に即した議題で開催し、スポーツを通じた子供たちの健全育成を目指す。	少年の心と体の成長に即した議題で、指導者や保護者を対象とした研修会等を開催。開催日：平成29年3月25日(土)14:00～15:30 演題：「スポーツ栄養：スポーツする子どもたちの未来に向けて」 講師：雪平 美和子 氏(株)さんびる健康福祉部鳥取事業所 管理栄養士 参加者：25名	研修会を1回開催(東部スポーツ少年団と共催) 開催日：平成29年3月25日(土)14:00～15:30 演題：「スポーツ栄養：スポーツする子どもたちの未来に向けて」 講師：雪平 美和子 氏(株)さんびる健康福祉部鳥取事業所 管理栄養士 参加者：25名	B	少年の心と体の成長に即した議題で、指導者や保護者を対象とした研修会等を開催。開催日：平成30年3月24日(土)14:00～16:30 演題：「キネシオテーピングによる実施」 講師：橋本 尚志 氏 キネシオテーピング協会 中国支部 参加者：37名	研修会を1回開催(東部スポーツ少年団と共催) 開催日：平成30年3月24日(土)14:00～16:30 演題：「キネシオテーピングによる実施」 講師：橋本 尚志 氏 キネシオテーピング協会 中国支部 参加者：37名	A	昨年度より、参加者が増加したため。	継続実施	少年の心と体の成長に即した議題で、指導者や保護者を対象とした研修会等を開催。スポーツを通じた子供たちの健全育成の啓発を行う。
さびアストロパーク	出張観察会	公民館、小・中学校、子ども会等の住民に対し、望遠鏡を持参しての天体観察会をおこない星に興味を持ってもらう。	公民館、小・中学校、子ども会等の要望により天体望遠鏡を持参して天体観察会をおこなう。 103cm望遠鏡でとらえた天体画像等を活用した宇宙や星の話をおこなう。 工作教室、実験教室、講演会等の要望にも対応する。	①天体望遠鏡を持参しての星の観察会 実施回数 14回、参加者数 548人 ②工作教室等 実施回数 4回、参加者数 173人 ③講演講座等 実施回数 7回、参加者数 301人 ④その他 実施回数 2回、参加者数 435人	A	公民館、小・中学校、子ども会等の要望により天体望遠鏡を持参して天体観察会をおこなう。 103cm望遠鏡でとらえた天体画像等を活用した宇宙や星の話をおこなう。 工作教室、実験教室、講演会等の要望にも対応する。	①天体望遠鏡を持参しての星の観察会 実施回数 35回、参加者数 1,443人 ②工作教室等 実施回数 2回、参加者数 78人 ③講演講座等 実施回数 19回、参加者数 310人 ④その他 実施回数 17回、参加者数 1,448人	AA	鳥取県の「星取県」推進により、出張観察会等の出前の依頼が多くよせられ、実施回数及び参加者数とも飛躍的に伸びた。参加者や主催者からの評判もよく、計画をはるかに上回ると判断した。	出張観察会対応スタッフの確保をおこない、各団体の要望に柔軟に対応できるように努める。	公民館、小・中学校、子ども会等の要望により天体望遠鏡を持参して天体観察会をおこなう。 103cm望遠鏡でとらえた天体画像等を活用した宇宙や星の話をおこなう。 工作教室、実験教室、講演会等の要望にも対応する。
学校教育課	放課後児童クラブ	昼間保護者が就労のため家にいない小学校児童を放課後預かり、適切な遊び及び生活の場を与えることで健全育成を図る。	小学校区単位で開設している放課後児童クラブを、保護者会やNPO法人に委託し運営する。 既設クラブ54クラブ、新規開設予定5クラブ	小学校区単位で開設している放課後児童クラブを、保護者会やNPO法人に委託し運営する。 既設クラブ54クラブ+新規開設1クラブ+分割1クラブ(内拡大2クラブ)	A	小学校区単位で開設している放課後児童クラブを、保護者会やNPO法人に委託し運営する。 クラブ数56クラブ	小学校区単位で開設している放課後児童クラブを、保護者会やNPO法人に委託し運営する。	A	昼間保護者が就労のため家にいない小学校児童を放課後預かり、適切な遊び及び生活の場を与える環境が図ることができていると考えるため。	小学校区単位で開設している放課後児童クラブを、保護者会やNPO法人に委託し運営する。	小学校区単位で開設している放課後児童クラブを、保護者会やNPO法人に委託し運営する。 62クラブ
教育委員会用瀬町分室	青少年教育振興事業	青少年教育に関わる情報を提供するとともに、市民の要望に応えた講演会、研修会等実施する。また、子ども会の活動強化とそれを支えるリーダーの育成を行い青少年教育の充実を図る。	子どもと保護者を含む子ども会活動の活性化及びその他の青少年健全育成活動。 ・キャンプ：7月末予定 カヌー水辺広場 ・子どもまつり：10/23予定 創作活動等 ・青少年育成研修会：H28.2月予定 講演会	子どもと保護者を含む子ども会活動の活性化及びその他の青少年健全育成活動。 ・野外活動：10.2 水辺の菜校広場 ・子どもまつり：10.23 創作活動等 ・青少年育成研修会：H29.3.12 講演会	B	子どもと保護者を含む子ども会活動の活性化及びその他の青少年健全育成活動。 ・野外活動：10.上旬 水辺の菜校広場 ・子どもまつり：10下旬 創作活動等 ・青少年育成研修会：2中旬 講演会	子どもと保護者を含む子ども会活動の活性化及びその他の青少年健全育成活動。 ・野外活動：10.1 水辺の菜校広場 ・子どもまつり：10.22 創作活動等 ・青少年育成研修会：H30.2.18 講演会	B	計画をおおむね達成した。		子どもと保護者を含む子ども会活動の活性化及びその他の青少年健全育成活動。 ・野外活動：9月・3月 水辺の菜校広場 ・子どもまつり：10月21日 創作活動
生涯学習・スポーツ課	子どもフェスティバル開催運営事業	子どもの健全育成と福祉増進に寄与するため	第21回子どもフェスティバル 日時：平成28年10月16日(日) 10:30～15:00 場所：とっとり出会いの森 内容：遊びのコーナーなど	第21回子どもフェスティバル 日時：平成28年10月16日(日) 10:30～15:00 場所：とっとり出会いの森公園 内容：遊びのコーナーなど 参加者数：約2,000人	A	第22回子どもフェスティバル 日時：平成29年10月15日(日) 10:30～15:00 場所：とっとり出会いの森公園 内容：遊びのコーナーなど 参加者数：約200人	第22回子どもフェスティバル 日時：平成29年10月15日(日) 10:30～15:00 場所：とっとり出会いの森公園 内容：遊びのコーナーなど 参加者数：約200人	A	雨天のため参加は鈍ったものの、野外での遊びやスポーツを通して子どもの心を豊かにし、相互の連帯感と取り巻く大人の支援体制の活性化を図ることができた。	継続実施	第23回子どもフェスティバル 日時：平成30年10月 場所：とっとり出会いの森 内容：遊びのコーナーなど
生涯学習・スポーツ課	少年愛護センター運営事業	非行の未然防止と意識啓発を通して青少年の健全育成を図る。	補導員人数 265人 補導予定回数 143回	補導員人数 263人、補導実施回数 176回、活動委員延人数 620人 補導件数 2,030件、相談件数 14件	A	補導員人数 265人 補導予定回数 180回	補導員人数 264人、補導実施回数 174回、従事した補導員の延べ人数 1,059人 補導件数 2,419件、相談件数 15件	A	多くの補導員の協力により、概ね計画どおりの補導活動が実施できた。	「こんにちは」ではじまる親しい声かけを心がけ、青少年との信頼関係の構築を図るとともに、関係諸機関との情報共有や活動状況の情報発信に努める。	補導員人数 267人 補導予定回数 240回 少年補導員、各店舗、各学校へのアンケート調査による評価の導入

6 伝統文化・芸能・芸術の学びを通じた継承及び活用と振興

(1) 伝統芸能や地域に伝わる技能などの保存・伝承・発信のための取り組み

担当課	事業名	事業目的	平成29年度事業計画	平成29年度事業実績	達成度	達成度の判定理由	今後の見直し方針	平成30年度事業計画
教育委員会佐治町分室	佐治谷ばなし 保存伝承事業	鳥取市指定文化財である佐治谷話の保存伝承を目的とする。	佐治谷話の保存伝承のため、佐治歴史民俗資料館「民話の館」にて、佐治谷話の語りの会等の実施するとともに、地域の民俗行事の「庚申待」等を実施する。	佐治谷話の保存伝承のため、佐治歴史民俗資料館「民話の館」にて、佐治谷話の語りの会等の実施するとともに、地域の民俗行事の「庚申待」等を実施する。 ①佐治谷話保存伝承のための定例会を実施：月1回 ②佐治谷話の語り 民話の館等での求めに応じての民話語り 口演回数：45回 口演話数：215話 語り部数：68名 聞き手数：1,691名 ③庚申待(民俗行事)の開催 平成29年10月5日(金) ④他団体・イベントなどへの参加・交流 佐治ふるさと祭り、鳥取県民話サークル連合会、とりアート2017 ⑤冊子「佐治谷のむかしばなし」50部作成	B	事業実施については、概ね計画どおり順調に実施できたが、聞き手数の減少と庚申待行事が年1回にとどまったというところで「B」判定とした。	語り部の高齢化が著しく、新たな語り部が育成できていない現状があるので、佐治谷話の語りはもとより後継者の育成に力を入れていきたい。	佐治谷話の保存伝承のため、佐治歴史民俗資料館「民話の館」にて、佐治谷話の語りの会等の実施するとともに、地域の民俗行事の「庚申待」等を実施する。とりわけ、後継者の育成にも力を入れる。
教育委員会佐治町分室	さじ谷昔語り (昔のさまざまな生活や手仕事について学ぶ)	温故知新 「佐治町の古きをたずねて新しくを知る」 身近な昔のさまざまな生活や手仕事を学ぶことにより、貴重な伝統工芸などの製作技術の保存伝承を図り、郷土理解と次世代への語り継ぎを目的とする。	①国登録有形民俗文化財「佐治の板笠」の保存伝承並びに、後継者育成、地域特産品化を目標とした講座(教室の開催)を開する。 ②佐治町の古老より、さまざまな郷土の昔の手仕事や生活を学び、郷土理解と次世代への語り継ぎを図る講座を開催	①国登録有形民俗文化財「佐治の板笠」の保存伝承並びに、後継者育成、地域特産品化を目標とした講座(教室の開催)を実施するため、材料の選定作業等を実施。講師等の都合により、教室については未実施。	D	「佐治の板傘」の材料として使用しやすい「トウカエデ」「ウリノキ」を探すのが困難になってきている現状があり、平成29年度はそれに注力した。また、講師等の都合により、教室については未実施のため「D」判定とした。	材料の確保が困難な状況になってきているが、国登録有形民俗文化財の保存・伝承のため、後継者の育成、材料の確保に注力したい。	①国登録有形民俗文化財「佐治の板笠」の保存伝承並びに、後継者育成、地域特産品化を目標とした講座(教室の開催)を開する。 ②佐治町の古老より、さまざまな郷土の昔の手仕事や生活を学び、郷土理解と次世代への語り継ぎを図る講座を開催。
教育委員会福部町分室	公民館祭開催費(教委福部町分室)(再掲)	園児から一般の作品を一堂に展示公開し、広く住民に活動を知ってもらう。	公民館まつりの中で、園児・児童・生徒・一般の作品展示、講演、コンサートなどを行う。	公民館まつりの中で、園児・児童・生徒・一般の作品展示、講演、コンサートなどを行った。	B	参加者が減少したが、概ね予定通り実施出来たため	引き続き、園児から一般の作品を一堂に展示公開し、広く住民に活動を知ってもらうため、公民館まつりを開催する	公民館まつりの中で、園児・児童・生徒・一般の作品展示、芸能発表会などを行う。
気高町地域振興課	睦逢うぐい突きまつり	大堤池に伝わる漁法「うぐい突き」を地域の伝統行事として伝承することで、地域住民の親睦を深め、観光客の誘致・観光振興を図る。	平成29年10月1日(日)開催予定	平成29年4月19日(水)に逢坂小学校児童30名等がフナ約80匹を放流、10月1日(日)「逢坂うぐい突きまつり」が開催され、うぐい突き保存会による漁法の実演やうぐい突きを約200人が体験し、伝統漁法の継承が図れた。	B	計画どおり事業を完了したが、行事への参加者が目標値には達しなかった。	保存会の会員の拡充とともに、逢坂小学校、逢坂むらづくり協議会などと連携し、イベントを盛り上げ、より広く関心をもってもらえるよう工夫していく必要がある。	平成30年9月30日(日)開催予定
観光戦略課	岩国祭り派遣事業/姫路お城まつり派遣事業【再掲】	本市の郷土芸能「しゃんしゃん傘踊り」を派遣し、本市の観光宣伝及び姉妹都市岩国市、姫路市との交流を深める。(岩国市派遣事業は隔年で事業実施)	岩国まつり、姫路お城まつりで行われるパレードにしゃんしゃん傘踊り連を派遣	姫路お城まつりで行われるパレードにしゃんしゃん鈴の音大使と鳥取市観光協会連を派遣し、本市の観光PRを実施。(岩国市派遣事業は隔年で事業実施のため、29年度は派遣していない。)	A	姫路市民をはじめ多くの観光客に観覧していただき、鳥取市のPRを十分に実施することができた。	継続して実施していく。	岩国まつり、姫路お城まつりで行われるパレードにしゃんしゃん傘踊り連を派遣。
国府町地域振興課	大伴家持大賞短歌募集事業	因幡国司大伴家持にちなみ日本全国から短歌を募集・表彰し、地域文化の継承と振興を図る。	期日：10月第3日曜日：平成29年10月15日(日) 会場：国府町コミュニティセンター 短歌募集テーマ「音」を行い、大伴家持大賞として表彰式を行う。事前に募集した短歌を、大伴家持大賞短歌講座として会場で公開講評を行う。	期日：平成29年10月15日(日) 会場：国府町コミュニティセンター 短歌募集テーマ「音」を行い、大伴家持大賞として表彰式を行った。歌人の穂村弘氏による短歌講座を開催した。	AA	目標を上回る多数の短歌が応募された。	国府地域の活性化策として、より一層の内容充実を図る。	期日：10月21日(日) 会場：国府町コミュニティセンター 短歌募集テーマ「新」を行い、大伴家持大賞として表彰式を行う。事前に募集した短歌を、大伴家持大賞短歌講座として会場で公開講評を行う。
国府町地域振興課	万葉集朗唱の会開催事業	万葉集を編纂した大伴家持が万葉集最後を飾る歌を詠んだことに因んで朗唱を行う。広く参加者を募り、万葉歌を朗唱することによって万葉集への理解や親しみを深める。	期日：10月第3日曜日：平成29年10月15日(日) 会場：因幡万葉歴史館 伝承館 大伴家持が詠んだ万葉集470余首を、万葉衣装を着て自由に朗唱する。同時開催として、曲水の宴、こどもパレード万葉茶席、地産地消出店コーナーなど。	平成29年10月15日(日) 会場：因幡万葉歴史館 伝承館 大伴家持が詠んだ万葉集470余首を、万葉衣装を着て自由に朗唱する。同時開催として、曲水の宴、万葉茶席などを開催した。	B	イベント当日雨天ではあったが、例年並みの参加者があり、計画はおおむね達成できた。	国府地域の活性化策として、より一層の内容充実を図る。	期日：10月21日(日) 会場：因幡万葉歴史館 伝承館 大伴家持が詠んだ万葉集470余首を、万葉衣装を着て自由に朗唱する。同時開催として、曲水の宴、こどもパレード万葉茶席、地産地消出店コーナーなど。
国府町地域振興課	因幡の傘踊りの祭典開催事業	鳥取県内、兵庫県但馬地方等の傘踊り団体が一堂に会し、踊りの披露と互いの技術の向上を目指すとともに、来客者の関心・知識を深めていただき傘踊りの普及と発展を図る。	期日：8月第3土曜日：平成29年8月19日(土) 会場：因幡万葉歴史館 伝承館 近隣町村からの各団体、地元小中学生による傘踊りの披露。手笠踊りの披露。因幡の傘踊り体験コーナー。特産品の出店。	平成29年8月19日(土) 会場：因幡万葉歴史館 伝承館 近隣町村からの各団体、地元小中学生による傘踊りの披露。手笠踊りの披露。因幡の傘踊り体験コーナー。特産品の出店。	A	例年並みの参加者があり、計画は十分に達成できた。	国府地域の活性化策として、より一層の内容充実を図る。	期日：8月18日(土) 会場：因幡万葉歴史館 伝承館 近隣町村からの各団体、地元小中学生による傘踊りの披露。手笠踊りの披露。因幡の傘踊り体験コーナー。特産品の出店。

文化交流課	伝統芸能保存用具整備事業	伝統芸能を保存・伝承、活性化しようと地域で保存会を結成し、伝統芸能活動に取り組んでいる団体に対して助成を行うことにより、その取り組みを支援する。	保存会 3～4 団体に対して助成する。	晩稲町内会、別府獅子舞保存会が実施する麒麟獅子舞の衣装、太鼓などの新調に対し助成。 補助金実績) 晩稲：243千円、別府：121千円	B	麒麟獅子舞の保存・継承に取り組む団体に対し、計画通りに支援を実施。	引き続き、地域の伝統に培われた文化芸術の保存、継承に必要な支援を行う。	保存会 3～4 団体に対して助成する。
生涯学習・スポーツ課	青年団体育成事業（青少年伝統芸能等継承活動支援事業）	地域への誇りと連帯感を深めるとともに、ふるさとを発展させる主役となり活躍する人づくりを進める。	第53回しゃんしゃん祭り 日：平成29年8月14日（月） 参加予定：鳥取市子ども会連合会 12地区 約400人	第53回しゃんしゃん祭り 日：平成29年8月14日（月） 参加者：鳥取市子ども会連合会 11地区 約250人	A	市内11地区の子ども会連合会の参加により多くの子どもたちが参加し、しゃんしゃん傘踊りの練習、祭りへの参加を通じて地域の伝統芸能に触れる機会となった。	継続実施	第54回しゃんしゃん祭り 日：平成30年8月14日（土） 参加者：鳥取市子ども会連合会 12地区 約400人
用瀬町産業建設課	用瀬町流しびな行事	用瀬に古くから伝わる流しびな行事を通して、用瀬町地域の文化と伝統を継承し地域の活性化を図る。	開催場所：小学校等 学習内容：流しびな制作体験、流しびなの歴史の学習	開催場所：小学校等 学習内容：流しびな制作体験、流しびな寿司制作体験、流しびなの歴史の学習 開催日：平成30年1月26日（金）、2月2日（金）、3月2日（金） 参加者：小学生4、5年生39人、小学生5年生21人、小学生全学年143人	AA	計画より多くの体験事業が学習できたため	今後も引き続き事業を継続して実施する	開催場所：小学校等 学習内容：流しびな制作体験、流しびなの歴史の学習
青谷町地域振興課	青谷地域にぎわい創出事業 青谷因州和紙産地強化事業	国の伝統的工芸品「因州和紙」の伝統技術の継承し地域の活性化を図る	因州和紙産地である日置地区を中心に、手すき和紙製作技術体験セミナーの開催、各種イベントへのPRブース出展、因州和紙フェスタ開催	29.9.3 「あおいち」でPRブース出店 29.10.1 「あおいち」でPRブース出店 29.12.15 イルミネーション点灯式 和紙ランプオブジェ製作&PR 29.11.18 因州和紙フェスタ&ひおき収穫祭開催（あおや和紙工房・日置体育館） 29.9.5 手すき和紙伝統技術研修会開催 29.9.14 石州和紙視察	B	天候に左右されたイベントもあったが概ね目標を達成できた	引き続き、伝統芸能や地域に伝わる技能などの保存・伝承・発信に努めていく	因州和紙産地である日置地区を中心に、手すき和紙製作技術体験セミナーの開催、各種イベントへのPRブース出展、因州和紙フェスタ開催

(2) 文化財への意識高揚に関する学習の推進

担当課	事業名	事業目的	平成29年度事業計画	平成29年度事業実績	達成度	達成度の判定理由	今後の見直し方針	平成30年度事業計画
文化財課	埋蔵文化財体験・活用事業（子ども考古学教室）	市内の小学校に出向き、火起こし体験、勾玉づくり、古代米栽培等の体験活動を通して文化財に対する認識・理解を深めるとともに、文化財愛護の心を育てる。	市内の小学校に出向き、考古学に関する授業を行い、火起こし体験、勾玉づくり、古代米栽培等の体験活動を実施する。	市内の小学校37校に出向き、考古学に関する授業を行い、火起こし体験、勾玉づくり等を行った。青谷小学校を対象に古代米栽培体験活動を実施した。	B			市内の小学校に出向き、考古学に関する授業を行い、火起こし体験、勾玉づくり、古代米栽培等の体験活動を実施する。
文化財課	埋蔵文化財体験・活用事業（文化財公開事業）	国史跡「梶山古墳」などの文化財を一般公開することによって、郷土の歴史・文化への理解を高めながら、文化財愛護精神の高揚を図る。	国史跡「梶山古墳」の壁画一般公開、国史跡「栃本廃寺跡」の一般公開、国重要文化財「旧美敷水源地水道施設」の特別公開、国史跡「鳥取城跡附太閤ケ平」の見学会及びフォーラム等を開催する。	国史跡梶山古墳一般公開実施 開催日：10月7～8日 参加者：220名 国史跡栃本廃寺跡特別公開実施 開催日：6月17日 大茅ホタルまつり 参加者：100名 国重要文化財美敷水源地水道施設特別公開実施 開催日：10月21日 参加者：150名 鳥取城フォーラム 開催日：2月17日（土） 参加者：60名	B			国史跡「梶山古墳」の壁画一般公開、国史跡「栃本廃寺跡」の一般公開、国重要文化財「旧美敷水源地水道施設」の特別公開、国史跡「鳥取城跡附太閤ケ平」の見学会及びフォーラム等を開催する。
教育委員会佐治町分室	ふるさとの歴史講座	郷土の歴史と文化を学び、郷土理解と次世代への語り継ぐことを目的とする。	10年目となる「ふるさとの歴史講座」佐治町の貴重な歴史や文化を守り、後世に残していくため佐治町の歴史・文化等について講座を年間7回程度開催する。 講座テーマ「ついに10年目！熊野神社遺跡にはじまり、佐治八話を学び、佐治の人々ルーツを追い求め、その歴史に隠されたミステリーを探った。そして新たなステージへ・・・」	10年目となる「ふるさとの歴史講座」佐治町の貴重な歴史や文化を守り、後世に残していくため佐治町の歴史・文化等について講座を年6回実施。 講座テーマ「ついに10年目！熊野神社遺跡にはじまり、佐治八話を学び、佐治の人々ルーツを追い求め、その歴史に隠されたミステリーを探った。そして新たなステージへ・・・」 参加者：64名	B	当初計画より1回少ない実施となったが、概ね計画通りに実施できたため「B」判定とした。	10年を経過し、参加者の固定化が進んでいるため、新たな参加者を獲得する工夫が必要となってきている。新規参加者のための入門的な講座の開催も検討する必要がある。	11年目となる「ふるさとの歴史講座」佐治町の貴重な歴史や文化を守り、後世に残していくため佐治町の歴史・文化等について講座を年間6回程度開催する。新規参加者のための入門的な講座の開催。
生活環境課	名木・古木観察会費	自然保護及び環境保全の重要性について再認識していただくため、春・秋2回市内8か所程度の市指定保存樹木や優れた自然の観察を行う。	開催場所：市指定保存樹木など8か所程度 内容：春・秋に市報で参加者（約20名）を募集し、講師による現地説明を行う。	春季観察会参加者12名、秋季観察会参加者19名。 講師の解説の評判がよく、新規・リピーター共に楽しめる事業であった。	B	アンケート結果より、参加者の満足度は高い。しかし、春季観察会が定員を下回っている為。	ルートの見直し等を行い、参加者増加を目指す。	開催場所：市指定保存樹木など8か所程度 内容：春・秋に市報で参加者（約20名）を募集し、講師による現地説明を行う。

(3) 市民が自主的に行う文化芸術活動の支援と施設や環境の整備

担当課	事業名	事業目的	平成29年度事業計画	平成29年度事業実績	達成度	達成度の判定理由	今後の見直し方針	平成30年度事業計画
鹿野町地域振興課	町民音楽祭開催事業	鹿野町民音楽祭実行委員会を組織して、市民ミュージカルを実施し、市民の方の文化発表の場の形成と世代間交流を促進する。	平成29年8月27日(日)午後2時～鳥取市民会館にて第31回ふるさとミュージカル「鹿野の蒼白い夜」を上演予定	上演時期：平成29年8月27日 上演演目：第31回ふるさとミュージカル「鹿野の蒼白い夜」 上演場所：鳥取市民会館 事業主体：鹿野町民音楽祭実行委員会 入場者数：528人	A	地域住民、ボランティアをはじめ公募による出演者など総勢130名の市民による企画・制作・運営が行われ、入場者数は昨年を上回り、本事業の目的を達成することができたと考えられるため。	継続した事業費の助成を行い、市民の文化発表の機会を支援及び文化活動を通して世代間文化交流を促進し、地域の活性化を図る。	引き続き主催者である鹿野町民音楽祭実行委員会に事業費を助成し、市民参画による企画・制作・運営が行われることで、人材を育成し、地域の文化振興とともに地域活性化を図る。(第32回鹿野ふるさとミュージカルの開催)
文化交流課	市民文化祭開催事業	鳥取市民文化祭は、鳥取市文化団体協議会加盟団体が日頃の活動の成果を市内文化施設等で発表するとともに、芸術文化に触れる機会を提供することで市全体の文化振興を図る。	引き続き主催者である、鳥取市文化団体協議会に事業費を助成し、年間を通して市民の発表の機会を支援する。 鳥取市文化団体協議会傘下の団体が作品発表のための展示会、演奏会等の文化行事を市内各所で展開する。	第56回鳥取市民文化祭 ●開催日数：90日 ●開催行事数：45行事 ●入場者数：24,334人	B	展示、演奏等の文化行事が計画的に行われ、支援を実施。	市民の文化芸術活動の発表、鑑賞機会として引き続き支援を行う。	引き続き主催者である、鳥取市文化団体協議会に事業費を助成し、年間を通して市民の発表の機会を支援する。 鳥取市文化団体協議会傘下の団体が作品発表のための展示会、演奏会等の文化行事を市内各所で展開する。
文化交流課	市民音楽祭開催事業	参加団体の代表者により実行委員会を組織し、企画から運営まで全て市民が行う、手づくりの音楽祭であり、その経費の一部を助成することにより市民の自主的な活動を支援する。	支援先：鳥取市民音楽祭実行委員会 実施期日：平成29年6月4日 出演団体：27団体 会場：鳥取市民会館	第42回鳥取市民音楽祭 ●支援先：鳥取市民音楽祭実行委員会 ●実施期日：平成29年6月4日 ●開催場所：鳥取市民会館 ●入場者数：1,400人 ※出演者27団体600人(入場者数に含まない)	B	市民による手づくりの音楽祭として実施され、自主的な活動を支援。	市民の文化芸術活動の発表、鑑賞機会として引き続き支援を行う。	引き続き主催者である、鳥取市民音楽祭実行委員会に事業費を助成し、音楽団体の発表の場を確保し、多くの市民が参加し音楽を楽しむことで、音楽文化の向上を図る。
文化交流課	市民美術展	幅広い市民の創作意欲の啓発とともに芸術的に優れた作品の展示し、市内内外に鑑賞の機会を提供する。	委託先：鳥取市民美術展運営委員会 期間：本展・企画展：平成29年11月12日～19日(8日間) 部門：日本画、洋画、書道、工芸、デザイン、版画、写真、彫刻、企画展の9部門 会場：鳥取市教育センター体育館	第56回鳥取市民美術展 ●委託先：鳥取市民美術展運営委員会 ●期間：平成29年11月12日～19日(8日間) ●部門：日本画、洋画、書道、工芸、デザイン、版画、写真、彫刻、企画展の9部門(応募数：296点) ●会場：鳥取市教育センター体育館 ●入場者数：1,998人	C	開催場所を従来の県立博物館から市教育センター体育館に会場を変更したため、出品数や来場者数の減少等につながった。	市民にとって親しみやすく、また芸術文化活動の裾野を広げる事業として内容を検討するとともに、毎年一定の時期、場所で開催できるよう、関係各所と調整を行い、その実現に努めることとする。	引き続き、鳥取市民美術展運営委員会に委託し、市民美術展を開催。市民の創作意欲の向上と発表・鑑賞機会を創出し、文化芸術の振興を図る。
文化交流課	文化芸術推進事業費補助金等	市内で活動する芸術文化団体が芸術文化活動に要する経費の一部を補助することにより、市民文化の振興を図るとともに、活力ある地域社会の形成に資する。	鳥取市文化芸術事業に関する補助金交付要綱に基づき、文化芸術団体が実施する文化芸術に関する事業に必要な経費の一部を補助する。 童謡・唱歌100曲マラソン、シルエット劇場、吉備真備杯囲碁大会、鳥の演劇祭、日本のふるさと音楽祭、菊花展、放哉の会ほか	事業名・金額(開催期間/場所/入場者数) ●用瀬町月を愛でる会120千円(9/30/流しびなの館/170人) ●用瀬美術展45千円(10/18～22/用瀬町民会館/104人) ●貝殻節全国大会200千円(9/3/市文化ホール/300人) ●放哉の会500千円(10/21～25/とりぎん文化会館ほか/2,250人) ●吉備真備杯囲碁大会50千円(6/18/賀露神社/159人) ●アートスタート活動支援(4件)477千円(6/17.7/17.10/7.11/18/市内/321人) ●鳥の演劇祭1,000千円(9/8～24/鳥の劇場ほか/1,991人) ●大菊花展280千円(11/1～7/楞谿公園/2,000人) ●シルエット劇場1,180千円(2/26～27/市民会館/1,866人) ●とっとり手踊り・手笠踊りの集い182千円(10/15/明治小体育館/500人) ●童謡唱歌100曲マラソン900千円(6/16/とりぎん文化会館/1,500人) ●日本のふるさと音楽祭(7/1/市民会館/700人)	B	文化芸術団体が行う文化芸術に関する自主的な活動を促進し、計画に基づき支援。	市民が自主的に行う文化芸術活動を支援し、地域に根ざした文化芸術の振興を図るため、今後も同水準の支援を継続。	鳥取市文化芸術事業に関する補助金交付要綱に基づき、文化芸術団体が実施する文化芸術に関する事業に必要な経費の一部を補助する。 童謡・唱歌100曲マラソン、シルエット劇場、吉備真備杯囲碁大会、鳥の演劇祭、日本のふるさと音楽祭、菊花展、放哉の会ほか

(4) 文化芸術活動による交流の促進

担当課	事業名	事業目的	平成29年度事業計画	平成29年度事業実績	達成度	達成度の判定理由	今後の見直し方針	平成30年度事業計画
経済・雇用戦略課	あおや和紙工房管理事業	伝統産業の因州和紙のPRと定期的な展示会やイベントを通して、和紙の魅力を発信する。	入館者数 22,500人	入館者数 22,245人	A	計画をおおむね達成した。(達成率99%)	引き続き、あおや和紙工房の指定管理者である公財)鳥取市文化財団へ企画展等の企画運営業務を委託し集客に努めるとともに因州和紙の魅力を発信する。	入館者数 23,000人
文化交流課	国民文化祭参加事業	文化団体の参加を促進し、芸術文化を通じた交流を深めるとともに、文化活動の発表の機会の拡充と文化意識の一層の高揚を図る。	国民文化祭なら2017 会場：奈良県内 派遣団体：3団体(鳥取県かるた協会、鳥取女性合唱団、鳥取市少年少女合唱団)	国民文化祭なら2017参加(3件)412千円 ●11/4～5合唱の祭典/鳥取女声合唱団27人、鳥取市少年少女合唱団39人 ●10/7～8小倉百人一首競技かるた団体戦/鳥取県かるた協会7人	B	発表機会の提供と交流の促進を図るなど、取り組みを支援。	引き続き、文化団体の参加を促進し、芸術文化を通じた交流を深めるとともに、文化活動の発表の機会の拡充と文化意識の一層の高揚を図る。	引き続き、文化団体の参加を促進し、芸術文化を通じた交流を深めるとともに、文化活動の発表の機会の拡充と文化意識の一層の高揚を図る。
文化交流課	芸術の出前講座	地域で活躍している文化活動者が学校に出向き、子どもたちに文化の楽しさを伝授する。	●実施校：賀露小、日進小、久松小、美和小、佐治小 ●実施期間：平成29年7月～11月頃(予定)	●実施校：久松小、佐治小、美和、日進小、賀露小 ●実施期間：平成29年7月～11月 ●参加者数：690人(延べ実施回数73回)	B	鳥取市文化団体協議会と連携し、計画的に取り組むを実施。	次世代の芸術的素養を育む非常に教育効果の高い事業であるが、事業の積極的な活用を促すために、学校教育の現状やニーズ等を把握しながら、事業内容等の検討を行っていく必要がある。	引き続き、地域で活躍している文化活動者が学校に出向き、子どもたちに文化の楽しさを伝授する。
気高町地域振興課 ★H30～追加	芸術によるまちづくり推進事業 ★H30～追加	映画により「芸術のまちづくり」を通して、地域の魅力や交流など活性化を図ることを目的に支援する。	映画制作のワークショップ開催。 ショートムービーの制作。 浜村温泉映画祭の開催。	映画制作のワークショップ開催。 ショートムービーの制作。 浜村温泉映画祭の開催。	A	計画どおり事業を完了した。	地域住民が、スタッフ協力・出演などの作品制作に、継続的に協力する機運を高める。 今後、気高町が潜在型の映画・映像制作の制作地モデルになるよう県と連携し支援する。	映画制作のワークショップ開催。 ショートムービーの制作。 浜村温泉映画祭の開催。

(5) その他(上記項目に該当しない事業)

担当課	事業名	事業目的	平成29年度事業計画	平成29年度事業実績	達成度	達成度の判定理由	今後の見直し方針	平成30年度事業計画
文化交流課	青少年文化活動支援事業	青少年が豊かな人間性と多様な個性を育むために、一流の芸術鑑賞の機会を提供する。	●芸術鑑賞教室：11/14福部未来学園小、瑞穂小 ●青少年劇場巡回公演：5/25散岐小、6/22湖山小、9/8宝木小、10/4倉田小 ●青少年劇場小公演：11/8遷喬小、稲葉山小	●芸術鑑賞教室875千円(11/14福部未来学園小、瑞穂小) ●青少年劇場巡回公演1,240千円(5/25散岐小、6/22湖山小、9/8宝木小、10/4倉田小) ●青少年劇場小公演216千円(11/8遷喬小、稲葉山小)	B	芸術鑑賞機会の提供に向け、計画的な取り組みを実施。	引き続き、青少年が豊かな人間性と多様な個性を育むために、一流の芸術鑑賞の機会を提供する。	引き続き、青少年が豊かな人間性と多様な個性を育むために、一流の芸術鑑賞の機会を提供する。

7 生涯学習活動拠点の充実

(1) 公民館の施設整備及び機能強化

担当課	事業名	事業目的	平成29年度事業計画	平成29年度事業実績	達成度	達成度の判定理由	今後の見直し方針	平成30年度事業計画
生涯学習・スポーツ課	コミュニティセンター施設整備	地域のコミュニティセンターを整備することにより、利用者の安全と快適な学習環境を確保し、地域の特性を生かした生涯学習の推進を図る。	河原町コミュニティセンター 非常用照明 河原町コミュニティセンター 非常用扉 国府町コミュニティセンター 非常用照明 用瀬町民会館 屋上防水工事	河原町コミュニティセンター 非常用照明 河原町コミュニティセンター 非常用扉 国府町コミュニティセンター 非常用照明 国府町コミュニティセンター 堅樋・自動ドア ガイドレール 国府町コミュニティセンター アストロドーム 望遠鏡 用瀬町民会館 屋上防水工事 用瀬町民会館 給湯器・エレベーター外部連絡 装置 気高町コミュニティセンター 区分閉器 気高町コミュニティセンター 給湯器 等	A	計画事業に加え、事業目的の達成に資する施設整備に努めた。	各地域の実情に応じた施設経営が可能となるよう、引き続き整備に努める。	国府町コミュニティセンター 冷却塔 気高町コミュニティセンター 多目的トイレ漏水修繕
協働推進課	地区公民館新築事業	地区公民館を新築することにより、現状の課題を解消し生涯学習及び地域コミュニティの拠点施設として充実を図ることで、利用者が安全かつ快適に使用することができる。	・西郷地区公民館新築工事 ・西郷地区公民館駐車場整備工事 ・小鷲河地区公民館新築工事 ・日置谷地区公民館新築工事 ・津ノ井地区公民館新築設計業務	全て計画どおり完了した。	A	概ね計画どおり事業完了できたため		・津ノ井地区公民館新築工事 ・津ノ井地区公民館既存解体、駐車場整備設計 ・城北地区公民館新築設計業務 ・成器地区公民館新築設計業務
協働推進課	地区公民館耐震補強事業	地区公民館の耐震補強工事を行うことにより、地震時における利用者の安全を確保する。	・大正地区公民館耐震補強工事 ・松保地区公民館耐震補強工事 ・谷地区公民館耐震補強設計業務	・大正、松保地区公民館の耐震補強工事は計画どおり完了した。 ・谷地区公民館は別施設へ移転する計画へと変更したため、耐震補強設計業務は未実施。	A	概ね計画どおり事業完了できたため	谷地区公民館は国府地区保健センターへ機能を移転し、改修して使用する計画へと変更した。	なし
協働推進課	地区公民館改修事業	地区公民館施設の改善を図ることで、地域住民が気軽に集い、生涯学習事業やコミュニティ活動が円滑に実施できる環境を整える。	なし	なし	-	なし		・八上地区公民館2階トイレ設置設計、工事 ・谷地区公民館移転改修設計、工事 ・あおば地区公民館屋根及び外壁改修設計業務 ・美穂地区公民館外壁他改修設計業務

(2) 学校教育施設の開放

担当課	事業名	事業目的	平成29年度事業計画	平成29年度事業実績	達成度	達成度の判定理由	今後の見直し方針	平成30年度事業計画
生涯学習・スポーツ課	学校体育施設開放事業	学校教育施設を、地域の生涯学習の拠点施設のひとつとして捉え、地域で行われるスポーツ活動などの機会拡充を図る。	市民の生涯スポーツの場として、学校体育施設(小学校全校、中学校2校)を開放	市民の生涯スポーツの場として、学校体育施設(小学校全校、中学校2校)を開放	A	学校の休業日を中心に、児童等のスポーツ活動に貢献したため。	継続実施	市民の生涯スポーツの場として、学校体育施設(小学校・義務教育学校全校、中学校2校)を開放

(3) 図書館の整備及び管理運営

担当課	事業名	事業目的	平成29年度事業計画	平成29年度事業実績	達成度	達成度の判定理由	今後の見直し方針	平成30年度事業計画
市立中央図書館	図書館情報管理システム処理事業	中央図書館、用瀬図書館、気高図書館の市立図書館3館と国府・福部・河原・佐治・鹿野・青谷の各図書室6室、市立病院図書室の蔵書データ及び利用データを一元化し、電算システムによる一体的な情報管理を図る。	自動貸出機や自動返却機の利用、図書の予約や貸出期間の延長などセルフ利用の更なる促進を図ることで、貸出業務での人的な省力化を図る一方、資料相談や資料案内等の利用者サービスの一層の充実を図る。画面をユニバーサルデザインに変更するとともに、読書記録ができるようにするなどのバージョンアップを行う。 指標：セルフ利用率 47%	中央図書館、用瀬図書館、気高図書館の市立図書館3館と国府・福部・河原・佐治・鹿野・青谷の各図書室6室、市立病院図書室の蔵書データ及び利用データを一元化し、電算システムによる一体的な情報管理を図った。 指標：中央図書館でのセルフ利用率 45.3% 達成率96.4%	A	29年3月にバージョンアップを行い、読書記録ができるようになったことで、利便性はさらに向上した。セルフ利用率、インターネットによる予約件数は達成率95%以上を推移している。	平成30年度はシステムを更新する予定。これにより一層の利便性向上、効率化を図るとともに、安定的にサービスを提供していく。	引き続き、自動貸出機や自動返却機の利用、図書の予約や貸出期間の延長などセルフ利用の更なる促進を図ることで、貸出業務での人的な省力化を図る一方、資料相談や資料案内等の利用者サービスの一層の充実を図る。 指標：セルフ利用率 49%

(4) 生涯学習拠点の適切な管理運営

担当課	事業名	事業目的	平成29年度事業計画	平成29年度事業実績	達成度	達成度の判定理由	今後の見直し方針	平成30年度事業計画
男女共同参画課	鳥取市男女共同参画センター「輝なんせ鳥取」	学習や交流、情報交換など男女共同参画社会の実現をめざした活動拠点。	各種講座の開催 男女共同参画に関する図書・情報の収集、提供 男女共同参画団体の活動支援	講座：16講座17回、748人参加 図書貸出：184人(340冊) センター利用者数：《研究室等》13,712人、《ワークルーム》1,416人	A	センター利用者数は減少傾向にあるが、市民啓発については、周知等の徹底により目標以上の割合となった。	センター利用についての広報、講座の充実を図ることで、男性を含めた多くの市民に利用してもらえるよう、多面的に検討を行っていく必要がある。	各種講座の開催 男女共同参画に関する図書・情報の収集、提供 男女共同参画団体の活動支援
文化財課	鳥取市歴史博物館	鳥取の歴史や文化の学習拠点となるとともに広く県内外の情報発信をしていくことを目的として設置した施設	常設展示、特別展・企画展・ロビー展の開催 体験イベント等の開催 講座等の開設	常設展示、特別展「館藏品展Ⅲ～先人の遺してくれたもの～」企画展「夏泊の海女」ほか、共催展「絵本のひきだし林明子原画展」ほか、体験イベント「歴史ツアー」、「やまびこ・クイズオリエンテーリング」ほか、テーマ講座「災害について」ほか 平成29年度入館者数 33,289人	B			常設展示、特別展・企画展・ロビー展の開催 体験イベント等の開催 講座等の開設
文化財課	仁風閣及び宝扇庵	国重要文化財「仁風閣」の保存と、文化財に触れる機会を提供し、文化財保護精神の高揚に努める。	常設展示、企画展等の開催 コンサート、鳥取城講座、フォトコンテスト等の開催	常設展示、企画展「甦る鳥取城」ほか、「鳥取城講座～初級編」「仁風閣誕生フェア」「秋の仁風閣フェア」「仁風閣フェア冬～春」「仁風閣サロンコンサート」ほか 平成29年度入館者数 42,578人	A	世界最大の旅行サイト「トリップアドバイザー」から、素晴らしい口コミを一貫して得ているとして『2017年エクセレンス認証』を受けた。また、団体客が前年度に比べて7割増、年間入館者数が20年ぶりに4万人台に到達した。		常設展示、企画展等の開催 コンサート、鳥取城講座、フォトコンテスト等の開催

